



show コマンド

この章では、Cisco NX-OS セキュリティの **show** コマンドについて説明します。

show aaa accounting

AAA アカウンティング設定情報を表示するには、**show aaa accounting** コマンドを使用します。

show aaa accounting

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、アカウンティング ログの設定を表示する例を示します。

```
switch# show aaa accounting
      default: local
```

show aaa authentication

AAA 認証設定情報を表示するには、**show aaa authentication** コマンドを使用します。

show aaa authentication [login error-enable | login chap | login mschap | login mschapv2 | login ascii-authentication]

構文の説明

login error-enable	(任意) ログイン エラー メッセージの設定を表示します。
login chap	(任意) CHAP 認証の設定を表示します。
login mschap	(任意) MS-CHAP 認証の設定を表示します。
login mschapv2	(任意) MS-CHAP V2 認証の設定を表示します。
login ascii-authentication	(任意) 次に、TACACS+ サーバでパスワードの ASCII 認証の設定を表示する例を示します。

デフォルト

コンソールとログイン認証の方式の設定を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	chap キーワードが追加されました。
4.2(1)	mschapv2 キーワードが追加されました。
4.1(2)	ascii-authentication キーワードが追加されました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、設定された認証パラメータを表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication
      default: local
      console: local
      dot1x: not configured
      eou: not configured
```

次に、認証ログイン エラーイネーブル設定を表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication login error-enable
disabled
```

次に、認証ログイン CHAP 設定を表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication login chap
disabled
```

次に、認証ログイン MSCHAP 設定を表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication login mschap
disabled
```

次に、認証ログイン MSCHAP V2 設定を表示する例を示します。

```
switch# show aaa authentication login mschapv2
enabled
```

次に、パスワード機能の ASCII 認証のステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# show aaa authentication login ascii-authentication
disabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa authentication login ascii-authentication	TACACS+ サーバでパスワードの ASCII 認証をイネーブルにします。
aaa authentication login chap enable	CHAP 認証をイネーブルにします。
aaa authentication login error-enable	AAA 認証失敗メッセージをコンソールに表示するように設定します。
aaa authentication login mschap enable	MSCHAP 認証をイネーブルにします。
aaa authentication login mschapv2 enable	MSCHAP V2 認証をイネーブルにします。

show aaa authorization

AAA 認可設定情報を表示するには、**show aaa authorization** コマンドを使用します。

show aaa authorization [all]

構文の説明	all (任意) 設定されている値とデフォルトの値を表示します。
--------------	---

デフォルト	設定されている情報を表示します。
--------------	------------------

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
----------------------	--

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。
-------------------	-------------------------

例	次に、設定されている認可方式を表示する例を示します。
----------	----------------------------

```
switch# show aaa authorization
pki-ssh-cert: local
pki-ssh-pubkey: local
AAA command authorization:
  default authorization for config-commands: none
  cts: group radius
```

次に、設定されている認可方式とデフォルトを表示する例を示します。

```
switch# show aaa authorization all
pki-ssh-cert: local
pki-ssh-pubkey: local
AAA command authorization:
  default authorization for config-commands: none
  default authorization for commands: local
  cts: group radius
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa authorization	デフォルトの AAA 認可方式を設定します。
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。
feature ldap	LDAP 機能をイネーブルにします。
feature tacacs+	TACACS+ 機能をイネーブルにします。

show aaa groups

AAA サーバ グループ設定を表示するには、**show aaa groups** コマンドを使用します。

show aaa groups

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、AAA グループ情報を表示する例を示します。

```
switch# show aaa groups  
radius  
TacServer
```

show aaa user default-role

AAA ユーザ デフォルト ロール設定を表示するには、**show aaa user default-role** コマンドを使用します。

show aaa user default-role

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(3)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

AAA ユーザ デフォルト ロールを設定するには、**aaa user default-role** コマンドを使用します。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、AAA ユーザ デフォルト ロール設定を表示する例を示します。

```
switch# show aaa user default-role
enabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa user default-role	AAA ユーザ デフォルト ロールをイネーブルにします。

show access-lists

すべての IPv4 Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト)、IPv6 ACL、および MAC ACL、または特定の ACL を表示するには、**show access-lists** コマンドを使用します。

show access-lists [*access-list-name*] [**expanded** | **summary**]

構文の説明

<i>access-list-name</i>	(任意) ACL の名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
expanded	(任意) オブジェクトグループの名前だけでなく、オブジェクトグループの内容を表示するように指定します。
summary	(任意) コマンドが ACL に関する情報を表示するように指定します。詳細については、「使用上のガイドライン」を参照してください。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.2(1)	コマンド出力は、ACL 名によってアルファベット順にソートされます。 fragments コマンドのサポートが追加されました。
4.1(2)	IPv6 ACL のサポートが追加されました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

access-list-name 引数を使用して ACL を指定する場合を除いて、デバイスはすべての ACL を表示します。

ACL 名を指定しない場合、デバイスでは、ACL 名によってアルファベット順に ACL のリストが表示されます。

expanded キーワードを使用すると、オブジェクトグループの名前だけでなく、ACL で使用されているオブジェクトグループの詳細を表示できます。オブジェクトグループに関する詳細については、**object-group ip address** コマンド、**object-group ipv6 address** コマンド、および **object-group ip port** コマンドを参照してください。

summary キーワードを使用すると、ACL 設定ではなく ACL に関する情報を表示できます。表示される情報には、次の内容が含まれます。

- エントリ単位の統計情報が ACL に対して設定されているかどうか。

- **fragments** コマンドが IP ACL に対して設定されているかどうか。
- ACL 設定内のルール数。この数は、デバイスがインターフェイスに適用されるときに ACL 内に含まれるエントリ数を反映しません。ACL 内のルールがオブジェクト グループを使用する場合、適用されるときに ACL 内のエントリ数は、ルール数よりはるかに大きくなる場合があります。
- ACL が適用されているインターフェイス。
- ACL がアクティブ状態のインターフェイス。

show access-lists コマンドは、次の両方の状態が真の場合に、ACL 内の各エントリの統計情報を表示します。

- ACL 設定に **statistics per-entry** コマンドが含まれている。
- 管理上アップ状態のインターフェイスに ACL が適用されている。

IP ACL に **fragments** コマンドが含まれる場合、明示的な許可ルールおよび拒否ルールの前にコマンドが表示されます。ただし、デバイスでは、非初期フラグメントが ACL の他のすべての明示的なルールに一致しない場合だけ、**fragments** コマンドが非初期フラグメントに適用されます。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、IP ACL および MAC ACL が 1 つずつ設定されたデバイスで、ACL 名を指定せずに **show access-lists** コマンドを使用する例を示します。

```
switch# show access-lists

IP access list ip-v4-filter
    10 permit ip any any
MAC access list mac-filter
    10 permit 00c0.4f00.0000 0000.00ff.ffff 0060.3e00.0000 0000.00ff.ffff ip
```

次に、**show access-lists** コマンドを使用して、MainLab オブジェクト グループを除くエントリのエントリ単位の統計情報を含めて、**ipv4-RandD-outbound-web** という名前の IPv4 ACL を表示する例を示します。

```
switch# show access-lists ipv4-RandD-outbound-web

IP access list ipv4-RandD-outbound-web
    statistics per-entry
    1000 permit ahp any any [match=732]
    1005 permit tcp addrgroup MainLab any eq telnet
    1010 permit tcp any any eq www [match=820421]
```

次に、**show access-lists** コマンドを使用して、**ipv4-RandD-outbound-web** という名前の IPv4 ACL を表示する例を示します。**expanded** キーワードを使用すると、エントリ単位の統計情報を含めて、前の例のオブジェクト グループの内容が表示されます。

```
switch# show access-lists ipv4-RandD-outbound-web expanded

IP access list ipv4-RandD-outbound-web
    statistics per-entry
    1000 permit ahp any any [match=732]
    1005 permit tcp 10.52.34.4/32 any eq telnet [match=5032]
    1005 permit tcp 10.52.34.27/32 any eq telnet [match=433]
    1010 permit tcp any any eq www [match=820421]
```

次に、**summary** キーワードとともに **show access-lists** コマンドを使用して、ACL が適用されているインターフェイスや ACL がアクティブ状態のインターフェイスなどの **ipv4-RandD-outbound-web** という名前の IPv4 ACL に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show access-lists ipv4-RandD-outbound-web summary
```

```
IPV4 ACL ipv4-RandD-outbound-web

Statistics enabled
Total ACEs Configured: 4
Configured on interfaces:
    Ethernet2/4 - ingress (Router ACL)
Active on interfaces:
    Ethernet2/4 - ingress (Router ACL)
```

関連コマンド

コマンド	説明
fragments	IP ACL が非初期フラグメントを処理する方法を設定します。
ip access-list	IPv4 ACL を設定します。
mac access-list	MAC ACL を設定します。
show ip access-lists	すべての IPv4 ACL または特定の IPv4 ACL を表示します。
show mac access-lists	すべての MAC ACL または特定の MAC ACL を表示します。

show accounting log

アカウントティングのログ内容を表示するには、**show accounting log** コマンドを使用します。

show accounting log [*size* | **last-index** | **start-seqnum** *number* | **start-time** *year month day HH:MM:SS*]

構文の説明

<i>size</i>	(任意) 表示するログのサイズ (バイト単位)。有効な範囲は 0 ~ 250000 です。
last-index	(任意) ログ内の最後のインデックス番号を表示します。
start-seqnum <i>number</i>	(任意) 表示の出力が開始される、ログ内のシーケンス番号を指定します。範囲は 1 ~ 1000000 です。
start-time <i>year month day HH:MM:SS</i>	(任意) 出力の表示が開始される、ログ内の開始時刻を指定します。 <i>year</i> 引数は、yyyy 形式です。 <i>month</i> 引数は、3 文字の英語の略語です。 <i>day</i> 引数の範囲は 1 ~ 31 です。 <i>HH:MM:SS</i> 引数は、標準 24 時間形式です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.2(1)	last-index キーワード オプションおよび start-seqnum キーワード オプションが追加されました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、アカウントリング ログ全体を表示する例を示します。

```
switch# show accounting log

Sat Feb 16 10:44:24 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 10:44:25 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
Sat Feb 16 10:45:20 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log
file start-time 2008 Feb 16 10:44:11
Sat Feb 16 10:45:23 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting
log start-time 2008 Feb 16 10:08:57
Sat Feb 16 10:45:24 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 10:45:25 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
Sat Feb 16 10:46:20 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log
file start-time 2008 Feb 16 10:45:11
Sat Feb 16 10:46:22 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting
```

次に、アカウントリング ログの 400 バイトを表示する例を示します。

```
switch# show accounting log 400

Sat Feb 16 21:15:24 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 18:31:21
Sat Feb 16 21:15:25 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 21:15:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
```

次に、2008 年 2 月 16 日の 16:00:00 に開始するアカウントリング ログを表示する例を示します。

```
switch(config)# show accounting log start-time 2008 Feb 16 16:00:00

Sat Feb 16 16:00:18 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log file
start-time 2008 Feb 16 15:59:16
Sat Feb 16 16:00:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 12:05:16
Sat Feb 16 16:00:27 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 16:00:28 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
Sat Feb 16 16:01:18 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log file
start-time 2008 Feb 16 16:00:16
Sat Feb 16 16:01:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 12:05:16
Sat Feb 16 16:01:27 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
Sat Feb 16 16:01:29 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show clock
Sat Feb 16 16:02:18 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show logging log file
start-time 2008 Feb 16 16:01:16
Sat Feb 16 16:02:26 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show accounting log
start-time 2008 Feb 16 12:05:16
Sat Feb 16 16:02:28 2008:update:/dev/pts/1_172.28.254.254:admin:show system uptime
```

次に、最後のインデックス番号を表示する例を示します。

```
switch# show accounting log last-index
accounting-log last-index : 1814
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>clear accounting log</code>	アカウントリング ログを消去します。

show arp access-lists

すべての ARP Access Control List (ACL) または特定の ARP ACL を表示するには、**show arp access-lists** コマンドを使用します。

show arp access-lists [*access-list-name*]

構文の説明

access-list-name (任意) ARP ACL の名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

access-list-name 引数を使用して ACL を指定する場合を除いて、デバイスはすべての ARP ACL を表示します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、**show arp access-lists** コマンドを使用して、2 つの ARP ACL を持つデバイスですべての ARP ACL を表示する例を示します。

```
switch# show arp access-lists

ARP access list arp-permit-all
10 permit ip any mac any
ARP access list arp-lab-subnet
10 permit request ip 10.32.143.0 255.255.255.0 mac any
```

次に、**show arp access-lists** コマンドを使用して、arp-permit-all という名前の ARP ACL を表示する例を示します。

```
switch# show arp access-lists arp-permit-all

ARP access list arp-permit-all
10 permit ip any mac any
```

関連コマンド

コマンド	説明
arp access-list	ARP ACL を設定します。
ip arp inspection filter	VLAN に ARP ACL を適用します。

show class-map type control-plane

コントロールプレーン クラス マップ情報を表示するには、**show class-map type control-plane** コマンドを使用します。

show class-map type control-plane [*class-map-name*]

構文の説明

class-map-name (任意) コントロールプレーン クラス マップの名前

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドはデフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) 内でのみ使用できます。このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、コントロールプレーン クラス マップ情報を表示する例を示します。

```
switch# show class-map type control-plane

class-map type control-plane match-any copp-system-class-critical
  match access-grp name copp-system-acl-arp
  match access-grp name copp-system-acl-msdp

class-map type control-plane match-any copp-system-class-important
  match access-grp name copp-system-acl-gre
  match access-grp name copp-system-acl-tacas

class-map type control-plane match-any copp-system-class-normal
  match access-grp name copp-system-acl-icmp
  match redirect dhcp-snoop
  match redirect arp-inspect
  match exception ip option
  match exception ip icmp redirect
  match exception ip icmp unreachable
```

show cli syntax roles network-admin

network-admin ロールが使用できて vdc-admin ロールが使用できないコマンドの構文を表示するには、**show cli syntax roles network-admin** コマンドを使用します。

show cli syntax roles network-admin

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、network-admin ロールが使用できて vdc-admin ロールが使用できないコマンドの構文を表示する例を示します。

```
switch# show cli syntax roles network-admin
MODE exec
(0) show debug license
(1) show debug bootvar
(2) show debug cmpproxy
(3) show debug exceptionlog
(4) show debug device_test
(5) show debug diagmgr
(6) show debug diagclient
(7) show debug ntp
(8) show debug port_lb
(9) show debug copp
(10) show debug copp bypass
(11) show license usage vdc-all [ { detail | <license-feature> } ]
(12) show system internal license event-history
(13) show system internal license mem-stats [ detail ]
(14) show system internal loader configuration
(15) show system internal bootvar log
(16) show system internal cmpproxy install-logs
(17) show system internal cmpproxy [ event-history ] errors
(18) show system internal cmpproxy [ event-history ] msgs
(19) show system internal cmpproxy mem-stats [ detail ]
```

```

(20) show system internal epld logging
(21) show system internal access-list status [ ]
(22) show system internal copp ppp-database { policy { subscriptions | sessions
| instances | all } }
(23) show system internal copp [ event-history ] errors
(24) show system internal copp [ event-history ] logs
(25) show system internal copp [ event-history ] msgs
(26) show system internal copp mem-stats [ detail ]
(27) show system internal copp info
(28) show system reset-reason
(29) show system reset-reason module <module>
(30) show system reset-reason <s0> <santa-cruz-range>
(31) show system redundancy status
(32) show system redundancy ha status
(33) show logging level { license | licmgr }
(34) show logging level bootvar
(35) show logging level cmpproxy
(36) show logging level diagnostic device_test
(37) show logging level diagnostic diagmgr
(38) show logging level diagnostic diagclient
(39) show logging level ntp
(40) show logging level copp
(41) show running-config res_mgr
(42) show running-config vdc [ all ]
(43) show running-config diagnostic [ all ]
(44) show running-config cmp
(45) show running-config ntp [ all ]
(46) show running-config vdc-all [ all ]
(47) show running-config copp [ all ]
(48) show startup-config vdc [ all ]
(49) show startup-config diagnostic [ all ]
(50) show startup-config ntp [ all ]
(51) show startup-config vdc-all
(52) show startup-config copp [ all ]
(53) show tech-support gold
(54) show tech-support cmp
(55) show tech-support dcbx
(56) show tech-support ntp
(57) show tech-support forwarding l2 multicast vdc-all
(58) show tech-support forwarding l3 unicast vdc-all [ module <module> ]
--More--

```

関連コマンド

コマンド	説明
show cli syntax roles network-operator	network-operator ロールが使用できて vdc-operator ロールが使用できないコマンドの構文を表示します。

show copp diff profile

以前および最新のコントロールプレーン ポリシング (CoPP) のベスト プラクティス ポリシー間、または現在適用されているデフォルトの CoPP のベスト プラクティス ポリシーと最新の CoPP のベスト プラクティス ポリシーの間の差異を表示するには、**show copp diff profile** コマンドを使用します。

```
show copp diff profile {lenient | moderate | strict} [prior-ver] profile {lenient | moderate | strict}
```

構文の説明

lenient	緩いプロファイルを表示します。
moderate	中程度のプロファイルを表示します。
strict	厳密なプロファイルを表示します。
profile	プロファイルを指定します。
prior-ver	以前のプロファイルを指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

prior-ver オプションを指定しない場合、このコマンドは、現在適用されている 2 つのデフォルトの CoPP のベスト プラクティス ポリシー（現在適用されている厳密なポリシーと現在適用されている中程度のポリシーなど）の差異を表示します。

prior-ver オプションを指定した場合、このコマンドは、現在適用されているデフォルトの CoPP ベスト プラクティス ポリシーと以前に適用したデフォルトの CoPP ベスト プラクティス ポリシーの違いを表示します（現在適用されている厳密なポリシーと以前適用した緩いポリシーなど）。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、現在適用されているデフォルトの CoPP ベスト プラクティス ポリシーと最新の CoPP ベスト プラクティス ポリシーの差異を表示する例を示します。

```
switch# show copp diff profile moderate applied latest
```

関連コマンド

コマンド	説明
show copp profile	クラスおよびポリサー値とともに、CoPP ベストプラクティス ポリシーの詳細を表示します。

show copp profile

コントロールプレーン ポリシング (CoPP) ベスト プラクティス ポリシーの詳細を、クラスおよびポリサー値とともに表示するには、**show copp profile** コマンドを使用します。

show copp profile {lenient | moderate | strict}

構文の説明

lenient	緩いプロファイルを表示します。
moderate	中程度のプロファイルを表示します。
strict	厳密なプロファイルを表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、クラスおよびポリサー値とともに、CoPP ベスト プラクティス ポリシーの詳細を表示する例を示します。

```
switch# show copp profile moderate

ip access-list copp-system-p-acl-bgp
  permit tcp any gt 1024 any eq bgp
  permit tcp any eq bgp any gt 1024
ipv6 access-list copp-system-p-acl-bgp6
  permit tcp any gt 1024 any eq bgp
  permit tcp any eq bgp any gt 1024
ip access-list copp-system-p-acl-cts
  permit tcp any any eq 64999
  permit tcp any eq 64999 any
ip access-list copp-system-p-acl-dhcp
  permit udp any eq bootpc any
  permit udp any neq bootps any eq bootps
ip access-list copp-system-p-acl-dhcp-relay-response
  permit udp any eq bootps any
```

■ show copp profile

```

    permit udp any any eq bootpc
ip access-list copp-system-p-acl-eigrp
    permit eigrp any any
ip access-list copp-system-p-acl-ftp
    permit tcp any any eq ftp-data
    permit tcp any any eq ftp
    permit tcp any eq ftp-data any
    permit tcp any eq ftp any
ip access-list copp-system-p-acl-glbp
    permit udp any eq 3222 224.0.0.0/24 eq 3222
--More--

```

関連コマンド

コマンド	説明
copp profile	
copp clone profile	
show copp diff profile	現在適用されているデフォルトの CoPP ベスト プラクティス ポリシーと最新または以前の CoPP ベスト プラクティス ポリシーの差異を表示します。
show copp status	最後の設定動作およびそのステータスなど、CoPP のステータスを表示します。
show running-config copp	実行コンフィギュレーション内の CoPP 設定を表示します。

show cli syntax roles network-operator

network-operator ロールが使用できて vdc-operator ロールが使用できないコマンドの構文を表示するには、**show cli syntax roles network-operator** コマンドを使用します。

show cli syntax roles network-operator

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、network-operator ロールが使用できて vdc-operator ロールが使用できないコマンドの構文を表示する例を示します。

```
switch# show cli syntax roles network-operator
MODE exec
(0) show debug license
(1) show debug cmpproxy
(2) show debug exceptionlog
(3) show debug device_test
(4) show debug diagmgr
(5) show debug diagclient
(6) show debug ntp
(7) show debug port_lb
(8) show debug copp
(9) show license usage vdc-all [ { detail | <license-feature> } ]
(10) show system internal license event-history
(11) show system internal license mem-stats [ detail ]
(12) show system internal loader configuration
(13) show system internal bootvar log
(14) show system internal cmpproxy install-logs
(15) show system internal cmpproxy [ event-history ] errors
(16) show system internal cmpproxy [ event-history ] msgs
(17) show system internal cmpproxy mem-stats [ detail ]
(18) show system internal epld logging
(19) show system internal access-list status [ ]
```

```
(20) show system internal copp ppf-database { policy { subscriptions | sessions  
| instances | all } }  
(21) show system internal copp [ event-history ] errors  
--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
show cli syntax roles network-admin	network-admin ロールが使用できて vdc-admin ロールが使用できないコマンドの構文を表示します。

show copp status

Control Plane Policing (CoPP) 設定ステータスを表示するには、**show copp status** コマンドを使用します。

show copp status

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドはデフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) 内でのみ使用できます。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、CoPP 設定ステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show copp status
Last Config Operation: service-policy input copp-system-policy
Last Config Operation Timestamp: 21:57:58 UTC Jun  4 2008
Last Config Operation Status: Success
Policy-map attached to the control-plane: new-copp-policy
```

show crypto ca certificates

設定されているトラストポイント証明書を表示するには、**show crypto ca certificates** コマンドを使用します。

show crypto ca certificates *trustpoint-label*

構文の説明

trustpoint-label トラストポイントの名前。名前では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用すると、アイデンティティ証明書にフィールドがある場合に、それを表示します。続いて、CA 証明書にあるフィールド（または、チェーンの場合は、最も低いものから、自己署名ルート証明書まで、各 CA 証明書）を表示します。トラストポイント名が指定されていない場合、すべてのトラストポイント証明書の詳細が表示されます。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、設定されているトラストポイント証明書を表示する例を示します。

```
switch# show crypto ca certificates
Trustpoint: admin-ca
certificate:
subject= /CN=switch160
issuer= /C=US/O=cisco/CN=Aparna CA2
serial=6CDB2D9E000100000006
notBefore=Jun  9 10:51:45 2005 GMT
notAfter=May  3 23:10:36 2006 GMT
MD5 Fingerprint=0A:22:DC:A3:07:2A:9F:9A:C2:2C:BA:96:EC:D8:0A:95
purposes: sslserver sslclient ike

CA certificate 0:
subject= /C=US/O=cisco/CN=Aparna CA2
issuer= /emailAddress=amandke@cisco.com/C=IN/ST=Maharashtra/L=Pune/O=cisco/OU=netstorage/CN=Aparna CA1
```

```

serial=14A3A877000000000005
notBefore=May  5 18:43:36 2005 GMT
notAfter=May   3 23:10:36 2006 GMT
MD5 Fingerprint=32:50:26:9B:16:B1:40:A5:D0:09:53:0A:98:6C:14:CC
purposes: sslserver sslclient ike

CA certificate 1:
subject= /emailAddress=amandke@cisco.com/C=IN/ST=Maharashtra/L=Pune/O=cisco/OU=netstorage/CN=Aparna CA1
issuer= /emailAddress=amandke@cisco.com/C=IN/ST=Karnataka/L=Bangalore/O=Cisco/OU=netstorage/CN=Aparna CA
serial=611B09A10000000000002
notBefore=May  3 23:00:36 2005 GMT
notAfter=May  3 23:10:36 2006 GMT
MD5 Fingerprint=65:CE:DA:75:0A:AD:B2:ED:69:93:EF:5B:58:D4:E7:AD
purposes: sslserver sslclient ike

CA certificate 2:
subject= /emailAddress=amandke@cisco.com/C=IN/ST=Karnataka/L=Bangalore/O=Cisco/OU=netstorage/CN=Aparna CA
issuer= /emailAddress=amandke@cisco.com/C=IN/ST=Karnataka/L=Bangalore/O=Cisco/OU=netstorage/CN=Aparna CA
serial=0560D289ACB419944F4912258CAD197A
notBefore=May  3 22:46:37 2005 GMT
notAfter=May  3 22:55:17 2007 GMT
MD5 Fingerprint=65:84:9A:27:D5:71:03:33:9C:12:23:92:38:6F:78:12
purposes: sslserver sslclient ike

```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca authenticate	CA の証明書を認証します。
show ca trustpoints	トラストポイント設定を表示します。

show crypto ca certstore

証明書ストア設定を表示するには、**show crypto ca certstore** コマンドを使用します。

show crypto ca certstore

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、証明書ストア設定を表示する例を示します。

```
switch# show crypto ca certstore
Certstore lookup: REMOTE
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca lookup	証明書認証に使用する証明書ストアを指定します。
show crypto ca remote-certstore	リモートの cert-store の設定を表示します。

show crypto ca crl

設定されている証明書失効リスト（CRL）を表示するには、**show crypto ca crl** コマンドを使用します。

show crypto ca crl *trustpoint-label*

構文の説明	<i>trustpoint-label</i>	トラストポイントの名前。ラベルでは、大文字と小文字が区別されます。
デフォルト		なし
コマンドモード		任意のコンフィギュレーションモード
サポートされるユーザロール		network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用すると、指定されたトラストポイントの CRL で失効した証明書のシリアル番号のリストを表示します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、設定されている CRL を表示する例を示します。

```
switch# show crypto ca crl admin-ca
Trustpoint: admin-ca
CRL:
Certificate Revocation List (CRL):
  Version 2 (0x1)
  Signature Algorithm: sha1WithRSAEncryption
  Issuer: /emailAddress=rviyyoka@cisco.com/C=IN/ST=Kar/L=Bangalore/O=Cisco
  Systems/OU=1/CN=cisco-blr
  Last Update: Sep 22 07:05:23 2005 GMT
  Next Update: Sep 29 19:25:23 2005 GMT
  CRL extensions:
    X509v3 Authority Key Identifier:
      keyid:CF:72:E1:FE:14:60:14:6E:B0:FA:8D:87:18:6B:E8:5F:70:69:05:3F

    1.3.6.1.4.1.311.21.1:
      ...
Revoked Certificates:
  Serial Number: 1E0AE838000000000002
```

```

    Revocation Date: Mar 15 09:12:36 2005 GMT
Serial Number: 1E0AE9AB000000000003
    Revocation Date: Mar 15 09:12:45 2005 GMT
Serial Number: 1E721E50000000000004
    Revocation Date: Apr  5 11:04:20 2005 GMT
Serial Number: 3D26E445000000000005
    Revocation Date: Apr  5 11:04:16 2005 GMT
Serial Number: 3D28F8DF000000000006
    Revocation Date: Apr  5 11:04:12 2005 GMT
Serial Number: 3D2C6EF3000000000007
    Revocation Date: Apr  5 11:04:09 2005 GMT
Serial Number: 3D4D7DDC000000000008
    Revocation Date: Apr  5 11:04:05 2005 GMT
Serial Number: 5BF1FE87000000000009
    Revocation Date: Apr  5 11:04:01 2005 GMT
Serial Number: 5BF22FB300000000000A
    Revocation Date: Apr  5 11:03:45 2005 GMT
Serial Number: 5BFA4A4900000000000B
    Revocation Date: Apr  5 11:03:42 2005 GMT
Serial Number: 5C0BC22500000000000C
    Revocation Date: Apr  5 11:03:39 2005 GMT
Serial Number: 5C0DA95E00000000000D
    Revocation Date: Apr  5 11:03:35 2005 GMT
Serial Number: 5C13776900000000000E
    Revocation Date: Apr  5 11:03:31 2005 GMT
Serial Number: 4864FD5A00000000000F
    Revocation Date: Apr  5 11:03:28 2005 GMT
Serial Number: 48642E2E000000000010
    Revocation Date: Apr  5 11:03:24 2005 GMT
Serial Number: 486D4230000000000011
    Revocation Date: Apr  5 11:03:20 2005 GMT
Serial Number: 7FCB75B9000000000012
    Revocation Date: Apr  5 10:39:12 2005 GMT
Serial Number: 1A7519000000000013
    Revocation Date: Apr  5 10:38:52 2005 GMT
Serial Number: 20F1B0000000000014
    Revocation Date: Apr  5 10:38:38 2005 GMT
Serial Number: 436E43A9000000000023
    Revocation Date: Sep  9 09:01:23 2005 GMT
CRL entry extensions:
    X509v3 CRL Reason Code:
      Cessation Of Operation
Serial Number: 152D3C5E000000000047
    Revocation Date: Sep 22 07:12:41 2005 GMT
Serial Number: 1533AD7F000000000048
    Revocation Date: Sep 22 07:13:11 2005 GMT
Serial Number: 1F9EB8EA00000000006D
    Revocation Date: Jul 19 09:58:45 2005 GMT
CRL entry extensions:
    X509v3 CRL Reason Code:
      Cessation Of Operation
Serial Number: 1FCA9DC600000000006E
    Revocation Date: Jul 19 10:17:34 2005 GMT
CRL entry extensions:
    X509v3 CRL Reason Code:
      Cessation Of Operation
Serial Number: 2F1B5E2E000000000072
    Revocation Date: Jul 22 09:41:21 2005 GMT
CRL entry extensions:
    X509v3 CRL Reason Code:
      Cessation Of Operation

```

```
Signature Algorithm: sha1WithRSAEncryption
4e:3b:4e:7a:55:6b:f2:ec:72:29:70:16:2a:fd:d9:9a:9b:12:
f9:cd:dd:20:cc:e0:89:30:3b:4f:00:4b:88:03:2d:80:4e:22:
9f:46:a5:41:25:f4:a5:26:b7:b6:db:27:a9:64:67:b9:c0:88:
30:37:cf:74:57:7a:45:5f:5e:d0
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca crl request	トラストポイント CA に対して、CRL を設定するか、または既存のものを上書きします。

show crypto ca remote-certstore

リモート証明書ストア設定を表示するには、**show crypto ca remote-certstore** コマンドを使用します。

show crypto ca remote-certstore

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、リモート証明書ストア設定を表示する例を示します。

```
switch# show crypto ca remote-certstore
Remote Certstore: NONE
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca lookup	証明書認証に使用する証明書ストアを指定します。
show crypto ca certstore	設定済みの証明書ストアを表示します。

show crypto ca trustpoints

トラストポイントの設定を表示するには、**show crypto ca trustpoints** コマンドを使用します。

show crypto ca trustpoints

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、設定されているトラストポイントを表示する例を示します。

```
switch# show crypto ca trustpoints
trustpoint: CAname; key:
revokation methods:  crl
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca authenticate	CA の証明書を認証します。
crypto ca trustpoint	デバイスが信頼する必要があるトラストポイント認証局を宣言します。
show crypto ca certificates	設定されているトラストポイント証明書を表示します。

show crypto certificatemap

証明書マッピング フィルタを表示するには、**show crypto certificatemap** コマンドを使用します。

show crypto certificatemap

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、証明書マッピング フィルタを表示する例を示します。

```
switch# show crypto certificatemap
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto certificatemap mapname	フィルタ マップを作成します。
filter	フィルタ マップ内で証明書マッピングのフィルタを 1 つまたは複数設定します。

show crypto key mypubkey rsa

RSA 公開キー設定を表示するには、**show crypto key mypubkey rsa** コマンドを使用します。

show crypto key mypubkey rsa

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、RSA 公開キー設定を表示する例を示します。

```
switch# show crypto key mypubkey rsa
key label: myrsa
key size: 512
exportable: yes
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca enroll	スイッチの RSA キー ペアの証明書を要求します。
crypto key generate rsa	RSA キー ペアを生成します。
rsakeypair	トラストポイントの RSA キー ペアの詳細を設定します。

show crypto ssh-auth-map

SSH 認証用に設定されたマッピング フィルタを表示するには、**show crypto ssh-auth-map** コマンドを使用します。

show crypto ssh-auth-map

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、SSH 認証用に設定されたマッピング フィルタを表示する例を示します。

```
switch# show crypto ssh-auth-map
Default Map      : filtermap1
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto certificatemap mapname	フィルタ マップを作成します。
crypto cert ssh-authorize	SSH プロトコルの証明書マッピング フィルタを設定します。
filter	フィルタ マップ内で証明書マッピングのフィルタを 1 つまたは複数設定します。

show cts

グローバル Cisco TrustSec 設定を表示するには、**show cts** コマンドを使用します。

show cts

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、Cisco TrustSec グローバル設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts
CTS Global Configuration
=====
CTS support           : enabled
CTS device identity  : Device1
CTS caching support  : disabled

Number of CTS interfaces in
DOT1X mode : 0
Manual mode : 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts credentials

Cisco TrustSec デバイスのクレデンシャルの設定を表示するには、**show cts credentials** コマンドを使用します。

show cts credentials

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、Cisco TrustSec のクレデンシャルの設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts credentials
CTS password is defined in keystore, device-id = Device1
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts environment-data

グローバル Cisco TrustSec 環境データを表示するには、**show cts environment-data** コマンドを使用します。

show cts environment-data

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

Cisco NX-OS デバイスは、デバイスで Cisco TrustSec のクレデンシャルを設定し、Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、認可、アカウントिंग) を設定したあと、ACS から Cisco TrustSec 環境データをダウンロードします。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、Cisco TrustSec 環境データを表示する例を示します。

```
switch# show cts environment-data
CTS Environment Data
=====
Current State           : CTS_ENV_DNLD_ST_ENV_DOWNLOAD_DONE
Last Status             : CTS_ENV_SUCCESS
Local Device SGT        : 0x0002
Transport Type          : CTS_ENV_TRANSPORT_DIRECT
Data loaded from cache  : FALSE
Env Data Lifetime       : 300 seconds after last update
Last Update Time        : Sat Jan  5 16:29:52 2008

Server List              : ACSServerList1
                          AID:74656d706f72617279 IP:10.64.65.95 Port:1812
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts interface

インターフェイスの Cisco TrustSec 情報を表示するには、**show cts interface** コマンドを使用します。

```
show cts interface {all | ethernet slot/port}
```

構文の説明	all	すべてのインターフェイスの Cisco TrustSec 情報を表示します。
	interface slot/port	特定のインターフェイスの Cisco TrustSec 情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例 次に、すべてのインターフェイスの Cisco TrustSec 設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts interface all
CTS Information for Interface Ethernet2/24:
  CTS is enabled, mode:    CTS_MODE_DOT1X
  IFC state:              CTS_IFC_ST_CTS_OPEN_STATE
  Authentication Status:  CTS_AUTHC_SUCCESS
    Peer Identity:        indial
    Peer is:              CTS Capable
    802.1X role:          CTS_ROLE_AUTH
    Last Re-Authentication:
  Authorization Status:   CTS_AUTHZ_SUCCESS
    PEER SGT:             2
    Peer SGT assignment:  Trusted
    Global policy fallback access list:
  SAP Status:             CTS_SAP_SUCCESS
    Configured pairwise ciphers: GCM_ENCRYPT
    Replay protection: Enabled
    Replay protection mode: Strict
    Selected cipher: GCM_ENCRYPT
    Current receive SPI: sci:1b54c1fbff0000 an:0
    Current transmit SPI: sci:1b54c1fc000000 an:0

CTS Information for Interface Ethernet2/25:
  CTS is enabled, mode:    CTS_MODE_DOT1X
  IFC state:              CTS_IFC_ST_CTS_OPEN_STATE
  Authentication Status:  CTS_AUTHC_SUCCESS
    Peer Identity:        indial
    Peer is:              CTS Capable
    802.1X role:          CTS_ROLE_SUP
    Last Re-Authentication:
  Authorization Status:   CTS_AUTHZ_SUCCESS
    PEER SGT:             2
    Peer SGT assignment:  Trusted
    Global policy fallback access list:
  SAP Status:             CTS_SAP_SUCCESS
    Configured pairwise ciphers: GCM_ENCRYPT
    Replay protection: Enabled
    Replay protection mode: Strict
    Selected cipher: GCM_ENCRYPT
    Current receive SPI: sci:1b54c1fc000000 an:0
    Current transmit SPI: sci:1b54c1fbff0000 an:0
```

次に、特定のインターフェイスの Cisco TrustSec 設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts interface ethernet 2/24
CTS Information for Interface Ethernet2/24:
  CTS is enabled, mode:      CTS_MODE_DOT1X
  IFC state:                 CTS_IFC_ST_CTS_OPEN_STATE
  Authentication Status:    CTS_AUTHC_SUCCESS
    Peer Identity:          indial
    Peer is:                 CTS Capable
    802.1X role:            CTS_ROLE_AUTH
    Last Re-Authentication:
  Authorization Status:     CTS_AUTHZ_SUCCESS
    PEER SGT:                2
    Peer SGT assignment:    Trusted
    Global policy fallback access list:
  SAP Status:                CTS_SAP_SUCCESS
    Configured pairwise ciphers: GCM_ENCRYPT
    Replay protection:       Enabled
    Replay protection mode:  Strict
    Selected cipher:         GCM_ENCRYPT
    Current receive SPI:     sci:1b54c1fbff0000 an:0
    Current transmit SPI:    sci:1b54c1fc000000 an:0
```

表 2-1 は、**show cts interface** コマンド出力で表示される値に関する情報を説明しています。

表 2-1 show cts interface コマンド出力の値の説明

値	説明
認証ステータス フィールド	
CTS_AUTHC_INIT	認証エンジンは、初期状態です。
CTS_AUTHC_SUCCESS	認証が正常に行われました。
CTS_AUTHC_NO_RESPONSE	Cisco Access Control Server (ACS) に到達できません。 Cisco ACS から応答がありません。
CTS_AUTHC_UNAUTHORIZED	認証の処理中です。
CTS_AUTHC_SKIPPED_CONFIG	Cisco TrustSec 設定は、デバイスが認証プロセスを省略する必要があることを示しています。
CTS_AUTHC_REJECT	Cisco ACS は、認証要求を拒否しました。
認可ステータス フィールド	
CTS_AUTHZ_INIT	認可エンジンは、初期状態です。
CTS_AUTHZ_SUCCESS	認可が正常に行われました。
CTS_AUTHZ_REJECT	ACS が認可要求を拒否しました。
CTS_AUTHZ_SKIPPED_CONFIG	Cisco TrustSec 設定は、デバイスが認可プロセスを省略する必要があることを示しています。
CTS_AUTHZ_POL_ACQ_FAILURE	認可ポリシー獲得が失敗しました。
CTS_AUTHZ_HW_FAILURE	ハードウェア認可プログラミングが失敗しました。
CTS_AUTHZ_RBACL_FAILURE	Security Group Access Control Group (SGACL) のダウンロードとインストールが失敗しました。
CTS_AUTHZ_INCOMPLETE	認可の処理中です。

表 2-1 show cts interface コマンド出力の値の説明 (続き)

値	説明
SAP ステータス フィールド	
CTS_SAP_INIT	Security Association Protocol (SAP) ネゴシエーションが初期状態です。
CTS_SAP_SUCCESS	SAP ネゴシエーションが正常に行われました。
CTS_SAP_FAILURE	SAP ネゴシエーションが失敗しました。
CTS_SAP_SKIPPED_CONFIG	Cisco TrustSec 設定は、デバイスが SAP ネゴシエーションを省略する必要があることを示しています。
CTS_SAP_REKEY	SAP キーの再生成の処理中です。
CTS_SAP_INCOMPLETE	SAP ネゴシエーションの処理中です。

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts pacs

EAP-FAST によってプロビジョニングされた Cisco TrustSec Protect Access Credentials (PAC) を表示するには、**show cts pacs** コマンドを使用します。

show cts pacs

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、Cisco TrustSec グローバル設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts pacs
PAC Info :
=====
PAC Type           : unknown
AID                 : 74656d706f72617279
I-ID                : indial
AID Info            : ACS Info
Credential Lifetime : Thu Apr  3 00:36:04 2008

PAC Opaque          : 0002008300020004000974656d706f7261727900060070000101001d
6321a2a55fa81e05cd705c714bea116907503aab89490b07fcbb2bd455b8d873f21b5b6b403eb1d8
125897d93b94669745cfe1abb0baf01a00b77aacf0bda9fbaf7dcd54528b782d8206a7751afdde42
1ff4a3db6a349c652fea81809fba4f30b1fff7b7ffaf9a6608
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts role-based access-list

グローバル Cisco TrustSec Security Group Access Control List (SGACL) 設定を表示するには、**show cts role-based access-list** コマンドを使用します。

show cts role-based access-list [*list-name*]

構文の説明	<i>list-name</i> (任意) SGACL 名です。
-------	----------------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	任意のコンフィギュレーション モード
---------	--------------------

サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin network-operator vdc-operator
---------------	--

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.2(1)	リスト名の引数を追加しました。
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドを使用するには、 feature cts コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。
------------	--

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例	次に、Cisco TrustSec SGACL 設定を表示する例を示します。
---	--

```
switch# show cts role-based access-list
rbacl:test-3
    deny ip
rbacl:test-1
    deny ip
    deny icmp
    deny tcp src eq 1000 dest eq 2000
    deny udp src range 1000 2000
rbacl:test-2
    permit icmp
    permit igmp
    permit tcp src lt 2000
    permit udp dest gt 4000
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts role-based counters

ロールベース アクセス コントロール リスト (RBACL) 統計情報の設定ステータスを表示し、すべての RBACL ポリシーの統計情報を一覧表示するには、**show cts role-based counters** コマンドを使用します。

```
show cts role-based counters [sgt {sgt-value | any | unknown}] [dgt {dgt-value | any | unknown}]
```

構文の説明	説明
sgt	ソース Security Group Tag (SGT) を指定します。
<i>sgt-value</i>	送信元 SGT の値。範囲は 0 ~ 65519 です。
any	任意の SGT または DGT を指定します。
unknown	未知の SGT または DGT を指定します。
dgt	宛先 Security Group Tag (SGT) を指定します。
<i>dgt-value</i>	宛先 SGT の値。範囲は 0 ~ 65519 です。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。
このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、RBACL 統計情報の設定ステータスと、特定の SGT および DGT の RBACL ポリシーに一致するパケットの合計数を表示する例を示します。

```
switch# show cts role-based counters sgt 10 dgt 20

RBACL policy counters enabled
sgt: 10 dgt: 20 [180]
rbacl test1:
deny tcp src eq 1111 dest eq 2222 [75]
deny tcp src eq 2222 dest eq 3333 [25]
rbacl test2:
deny udp src eq 1111 dest eq 2222 [30]
deny udp src eq 2222 dest eq 3333 [50]
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear cts role-based counters	すべてのカウンタが 0 にリセットされるように、RBACL 統計情報をクリアします。
cts role-based counters enable	RBACL 統計情報をイネーブルにします。

show cts role-based enable

VLAN および Virtual Routing and Forwarding (VRF) インスタンスの Cisco TrustSec Security Group Access Control List (SGACL) イネーブル ステータスを表示するには、**show cts role-based enable** コマンドを使用します。

show cts role-based enable

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、Cisco TrustSec SGACL 強制ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show cts role-based enable

vlan:1
vrf:1
vrf:3
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts role-based policy

グローバル Cisco TrustSec Security Group Access Control List (SGACL) ポリシーを表示するには、**show cts role-based policy** コマンドを使用します。

show cts role-based policy

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、Cisco TrustSec SGACL ポリシーを表示する例を示します。

```
switch# show cts role-based policy

sgt:unknown
dgt:unknown      rbacl:test-2
    permit icmp
    permit igmp
    permit tcp src lt 2000
    permit udp dest gt 4000

sgt:1000
dgt:2000         rbacl:test-1
    deny ip
    deny icmp
    deny tcp src eq 1000 dest eq 2000
    deny udp src range 1000 2000

sgt:any
dgt:any         rbacl:test-3
    deny ip
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>feature cts</code>	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts role-based sgt-map

グローバル Cisco TrustSec Security Group Tag (SGT) マッピング設定を表示するには、**show cts role-based sgt-map** コマンドを使用します。

show cts role-based sgt-map

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、Cisco TrustSec SGT マッピング設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts role-based sgt-map
IP ADDRESS          SGT          VRF/VLAN          SGT CONFIGURATION
5.5.5.5              5            vlan:10           CLI Configured
5.5.5.6              6            vlan:10           CLI Configured
5.5.5.7              7            vlan:10           CLI Configured
5.5.5.8              8            vlan:10           CLI Configured
10.10.10.10          10           vrf:3             CLI Configured
10.10.10.20          20           vrf:3             CLI Configured
10.10.10.30          30           vrf:3             CLI Configured
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts sxp

Cisco TrustSec Security Group Tag (SGT) Exchange Protocol (SXP) 設定を表示するには、**show cts sxp** コマンドを使用します。

show cts sxp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、Cisco TrustSec SXP 設定を表示する例を示します。

```
switch# show cts sxp
CTS SXP Configuration:
SXP enabled
SXP retry timeout:60
SXP reconcile timeout:120
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show cts sxp connection

Cisco TrustSec Security Group Tag (SGT) Exchange Protocol (SXP) 接続情報を表示するには、**show cts sxp connection** コマンドを使用します。

show cts sxp connection

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、Cisco TrustSec Security Group Tag (SGT) Exchange Protocol (SXP) 接続情報を表示する例を示します。

```
switch# show cts sxp connection
PEER_IP_ADDR      VRF          PEER_SXP_MODE  SELF_SXP_MODE  CONNECTION STATE
10.10.3.3         default     listener       speaker        initializing
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show dot1x

802.1X 機能ステータスを表示するには、**show dot1x** コマンドを使用します。

show dot1x

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature dot1x** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、802.1X 機能ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show dot1x
          Sysauthcontrol Enabled
          Dot1x Protocol Version 2
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature dot1x	802.1X 機能をイネーブルにします。

show dot1x all

すべての 802.1X 機能ステータスおよび設定情報を表示するには、**show dot1x all** コマンドを使用します。

show dot1x all [**details** | **statistics** | **summary**]

構文の説明

details	(任意) 802.1X 設定に関する詳細情報を表示します。
statistics	(任意) 802.1X 統計情報を表示します。
summary	(任意) 802.1X 情報の要約を表示します。

デフォルト

グローバルおよびインターフェイスの 802.1X 設定を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature dot1x** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべての 802.1X 機能ステータスおよび設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show dot1x all
      Sysauthcontrol Enabled
      Dot1x Protocol Version 2

Dot1x Info for Ethernet2/1
-----
          PAE = AUTHENTICATOR
      PortControl = FORCE_AUTH
          HostMode = SINGLE HOST
ReAuthentication = Disabled
      QuietPeriod = 60
      ServerTimeout = 30
      SuppTimeout = 30
      ReAuthPeriod = 3600 (Locally configured)
          ReAuthMax = 2
              MaxReq = 2
          TxPeriod = 30
      RateLimitPeriod = 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature dot1x	802.1X 機能をイネーブルにします。

show dot1x interface ethernet

イーサネット インターフェイスの 802.1X 機能ステータスおよび設定情報を表示するには、**show dot1x interface ethernet** コマンドを使用します。

show dot1x interface ethernet *slot/port* [details | statistics | summary]

構文の説明

<i>slot/port</i>	インターフェイスのスロットおよびポートの ID。
details	(任意) インターフェイスの詳細な 802.1X 情報を表示します。
statistics	(任意) インターフェイスの 802.1X 統計情報を表示します。
summary	(任意) インターフェイスの 802.1X 情報の要約を表示します。

デフォルト

インターフェイス 802.1X 設定を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature dot1x** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、イーサネット インターフェイスの 802.1X 機能ステータスおよび設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show dot1x interface ethernet 2/1

Dot1x Info for Ethernet2/1
-----
                PAE = AUTHENTICATOR
      PortControl = FORCE_AUTH
        HostMode = SINGLE HOST
ReAuthentication = Disabled
      QuietPeriod = 60
      ServerTimeout = 30
      SuppTimeout = 30
      ReAuthPeriod = 3600 (Locally configured)
        ReAuthMax = 2
          MaxReq = 2
          TxPeriod = 30
      RateLimitPeriod = 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>feature dot1x</code>	802.1X 機能をイネーブルにします。

show encryption service stat

暗号化サービスのステータスを表示するには、show encryption service stat コマンドを使用します。

show encryption service stat

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、暗号化サービスのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show encryption service stat
Encryption service is enabled
Master Encryption Key is configured.
Type-6 encryption is being used
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show key chain	特定のキーチェーンの設定を表示します。

show eou

Extensible Authentication Protocol over User Datagram Protocol (EAPoUDP) ステータスおよび設定情報を表示するには、**show eou** コマンドを使用します。

```
show eou [all | authentication {clientless | eap | static} | interface ethernet slot/port |
ip-address ipv4-address | mac-address mac-address | posturetoken [name]]
```

構文の説明

all	(任意) すべての EAPoUDP セッションを表示します。
authentication	(任意) 特定の認証タイプの EAPoUDP セッションを表示します。
clientless	クライアントレス ポスチャ検証を使用して認証されたセッションを指定します。
eap	EAPoUDP を使用して認証されたセッションを指定します。
static	静的に設定された例外リストを使用して静的に認証されたセッションを指定します。
interface ethernet slot/port	(任意) 特定のインターフェイスの EAPoUDP セッションを表示します。
ip-address ipv4-address	(任意) 特定の IPv4 アドレスの EAPoUDP セッションを表示します。
mac-address mac-address	(任意) 特定の MAC アドレスの EAPoUDP セッションを表示します。
posturetoken name	(任意) ポスチャ トークンの EAPoUDP セッションを表示します。
name	(任意) トークン名。

デフォルト

グローバル EAPoUDP 設定を表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature eou** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべての 802.1X 機能ステータスおよび設定情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou all
```

次に、802.1X クライアントレス認証情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou authentication clientless
```

次に、802.1X EAP 認証情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou authentication eap
```

次に、802.1X スタティック認証情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou interface ethernet 2/1
```

次に、イーサネットインターフェイスの 802.1X 情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou ip-address 10.10.10.1
```

次に、ポスチャトークンの 802.1X 情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou mac-address 0019.076c.dac4
```

次に、ポスチャトークンの 802.1X 情報を表示する例を示します。

```
switch# show eou posturetoken healthy
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature eou	802.1X 機能をイネーブルにします。

show fips status

連邦情報処理標準（FIPS）モードのステータスを表示するには、**show fips status** コマンドを使用します。

show fips status

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、FIPS モードのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show fips status  
FIPS mode is disabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
fips mode enable	FIPS モードをイネーブルにします。

show

コマンドで設定されている I/O モジュールに関する情報を表示するには、**show** コマンドを使用します。

show

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。
I/O モジュールがコマンドで設定されていない場合、**show** コマンドで何も出力されません。

例

次に、コマンドで設定された I/O モジュールを表示する例を示します。

```
switch# show
  Module 1 enabled
  Module 3 enabled

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
	ACL ベースの機能によって、1 つまたは複数の I/O モジュール上で複数の TCAM バンクを使用できます。

show hardware access-list status module

アクセス コントロール リスト (ACL) キャプチャ設定を表示するには、**show hardware access-list status module** コマンドを使用します。

show hardware access-list status module slot

構文の説明	<i>slot</i> スロット ID。有効な範囲は 1 ~ 18 です。				
デフォルト	なし				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator				
コマンド履歴	<table><thead><tr><th>リリース</th><th>変更箇所</th></tr></thead><tbody><tr><td>5.2(1)</td><td>このコマンドが追加されました。</td></tr></tbody></table>	リリース	変更箇所	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更箇所				
5.2(1)	このコマンドが追加されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。				
例	次に、アクセス コントロール リスト (ACL) キャプチャ設定を表示する例を示します。 <pre>switch(config)# show hardware access-list status module 5</pre> Non-Atomic ACL updates Disabled. TCAM Default Result is Deny. Resource-pooling: Disabled switch(config)#				
関連コマンド	<table><thead><tr><th>コマンド</th><th>説明</th></tr></thead><tbody><tr><td>hardware access-list capture</td><td>すべての仮想デバイス コンテキスト (VDC) 上でアクセス コントロール リスト (ACL) のキャプチャをイネーブルにします。</td></tr></tbody></table>	コマンド	説明	hardware access-list capture	すべての仮想デバイス コンテキスト (VDC) 上でアクセス コントロール リスト (ACL) のキャプチャをイネーブルにします。
コマンド	説明				
hardware access-list capture	すべての仮想デバイス コンテキスト (VDC) 上でアクセス コントロール リスト (ACL) のキャプチャをイネーブルにします。				

show hardware rate-limiter

レート制限の設定と統計情報を表示するには、**show hardware rate-limiter** コマンドを使用します。

```
show rate-limiter hardware rate-limiter {access-list-log [module module] | copy [module
module] | fl {rl-1 [module module] | rl-2 [module module] | rl-3 [module module] |
rl-4 [module module] | rl-5 [module module]} | layer-2 {l2pt [module module] |
mcast-snooping [module module] | port-security [module module] | storm-control
[module module] | vpc-low [module module]} | layer-3 {control [module module] |
glean [module module] | mtu [module module] | multicast {directly-connect [module
module] | local-groups [module module] | rpf-leak [module module]} | ttl [module
module]} | module module | receive [module module]}
```

構文の説明

access-list-log	アクセスリスト ログ パケットのレート制限統計情報を表示します。
module module	モジュール番号を指定します。有効な範囲は 1 ~ 18 です。
copy	コピー パケットのレート制限統計情報を表示します。
fl	F1 モジュールからスーパーバイザへの制御パケットを指定します。
rl-1	F1 レート リミッタ 1 を指定します。
rl-2	F1 レート リミッタ 2 を指定します。
rl-3	F1 レート リミッタ 3 を指定します。
rl-4	F1 レート リミッタ 4 を指定します。
rl-5	F1 レート リミッタ 5 を指定します。
layer-2	(任意) レイヤ 2 パケットのレート制限を表示します。
l2pt	レイヤ 2 トンネル プロトコル (L2TP) パケットのレート制限統計情報を指定します。
mcast-snooping	レイヤ 2 マルチキャストスヌーピング パケットのレート制限統計情報を指定します。
port-security	レイヤ 2 ポート セキュリティ パケットのレート制限統計情報を指定します。
storm-control	レイヤ 2 ストーム制御パケットのレート制限統計情報を指定します。
vpc-low	VPC low キューでのレイヤ 2 制御パケットのレート制限統計情報を指定します。
layer-3	(任意) レイヤ 3 パケットのレート制限を表示します。
control	レイヤ 3 制御パケットのレート制限統計情報を指定します。
glean	レイヤ 3 グリーニング パケットのレート制限統計情報を指定します。
mtu	レイヤ 3 Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) パケットのレート制限統計情報を指定します。
multicast	レイヤ 3 マルチキャストのレート制限を指定します。
directly-connected	レイヤ 3 マルチキャスト直接接続パケットのレート制限統計情報を指定します。
local-groups	レイヤ 3 マルチキャスト ローカル グループ パケットのレート制限統計情報を指定します。
rpf-leak	レイヤ 3 マルチキャスト Reverse Path Forwarding (RPF) リーク パケットのレート制限統計情報を指定します。
ttl	レイヤ 3 Time-to-Live (TTL; 存続可能時間) パケットのレート制限統計情報を指定します。

module <i>module</i>	(任意) 特定のモジュールのレート制限統計情報を表示します。モジュール番号は 1 ~ 18 です。
receive	(任意) 受信パケットのレート制限統計情報を表示します。

デフォルト すべてのレート制限統計情報を表示します。

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin

リリース	変更箇所
5.1(1)	f1 、 rl-1 、 rl-2 、 rl-3 、 rl-4 、 rl-5 、および module キーワードが追加されました。
5.0(2)	l2pt キーワードが追加されました。
4.0(3)	port-security キーワードが追加されました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドは、デフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) でだけ使用できます。このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべてのレート制限設定および統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show hardware rate-limiter
```

```
Units for Config: packets per second
```

```
Allowed, Dropped & Total: aggregated since last clear counters
```

Rate Limiter Class	Parameters
layer-3 mtu	Config : 500 Allowed : 0 Dropped : 0 Total : 0
layer-3 ttl	Config : 500 Allowed : 0 Dropped : 0 Total : 0
layer-3 control	Config : 10000 Allowed : 0 Dropped : 0 Total : 0
layer-3 glean	Config : 100 Allowed : 0 Dropped : 0 Total : 0
layer-3 multicast directly-connected	Config : 3000 Allowed : 0 Dropped : 0 Total : 0
layer-3 multicast local-groups	Config : 3000 Allowed : 0 Dropped : 0 Total : 0
layer-3 multicast rpf-leak	Config : 500 Allowed : 0 Dropped : 0 Total : 0

```

layer-2 storm-control          Config    : Disabled
access-list-log                Config    : 100
                               Allowed     : 0
                               Dropped     : 0
                               Total       : 0

copy                            Config    : 30000
                               Allowed     : 0
                               Dropped     : 0
                               Total       : 0

receive                         Config    : 30000
                               Allowed     : 0
                               Dropped     : 0
                               Total       : 0

layer-2 port-security          Config    : Disabled
layer-2 mcast-snooping         Config    : 10000
                               Allowed     : 0
                               Dropped     : 0
                               Total       : 0

layer-2 vpc-low                Config    : 4000
                               Allowed     : 0
                               Dropped     : 0
                               Total       : 0

layer-2 l2pt                    Config    : 500
                               Allowed     : 0
                               Dropped     : 0
                               Total       : 0

```

次に、アクセスリスト ログ パケットのレート制限設定および統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show hardware rate-limiter access-list-log
```

```
Units for Config: packets per second
Allowed, Dropped & Total: aggregated since last clear counters
```

```

Rate Limiter Class              Parameters
-----
access-list-log                 Config    : 100
                               Allowed     : 0
                               Dropped     : 0
                               Total       : 0

```

関連コマンド

コマンド	説明
clear hardware rate-limiter	レート制限統計情報をクリアします。
hardware rate-limiter	レート制限を設定します。

show identity policy

アイデンティティ ポリシーを表示するには、**show identity policy** コマンドを使用します。

show identity policy [*policy-name*]

構文の説明

policy-name (任意) ポリシーの名前。名前では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

すべてのアイデンティティ ポリシーの情報を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
VDC ユーザ

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、アイデンティティ ポリシーのすべての情報を表示する例を示します。

```
switch# show identity policy
```

次に、特定のアイデンティティ ポリシーの情報を表示する例を示します。

```
switch# show identity policy AdminPolicy
```

関連コマンド

コマンド	説明
identity policy	アイデンティティ ポリシーを設定します。

show identity profile

アイデンティティ ポリシーを表示するには、**show identity profile** コマンドを使用します。

show identity profile [eapoudp]

構文の説明	eapoudp (任意) Extensible Authentication Protocol over User Datagram Protocol (EAPoUDP) アイデンティティ プロファイルを表示します。
-------	---

デフォルト すべてのアイデンティティ プロファイルの情報を表示します。

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール network-admin
vdc-admin
VDC ユーザ

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、アイデンティティ プロファイルを表示する例を示します。

```
switch# show identity profile
```

次に、EAPoUDP アイデンティティ プロファイル設定を表示する例を示します。

```
switch# show identity profile eapoudp
```

関連コマンド	コマンド	説明
	identity profile eapoudp	EAPoUDP アイデンティティ プロファイルを設定します。

show ip access-lists

すべての IPv4 Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) または特定の IPv4 ACL を表示するには、**show ip access-lists** コマンドを使用します。

show ip access-lists [*access-list-name*] [**expanded** | **summary**]

構文の説明

<i>access-list-name</i>	(任意) IPv4 ACL の名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
expanded	(任意) オブジェクト グループの名前だけでなく、IPv4 アドレス グループまたはポート グループの内容を表示するように指定します。
summary	(任意) コマンドが ACL 設定ではなく、ACL に関する情報を表示するように指定します。詳細については、「使用上のガイドライン」を参照してください。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.2(1)	コマンド出力は、ACL 名によってアルファベット順にソートされます。
	fragments コマンドのサポートが追加されました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

access-list-name 引数を使用して ACL を指定する場合を除いて、デバイスはすべての IPv4 ACL を表示します。

ACL 名を指定しない場合、デバイスでは、ACL 名によってアルファベット順に ACL のリストが表示されます。

expanded キーワードを使用する場合を除いて、IPv4 アドレス オブジェクト グループおよび IP ポート オブジェクト グループは名前だけで表示されます。

expanded キーワードを使用すると、オブジェクト グループの名前だけでなく、ACL で使用されているオブジェクト グループの詳細を表示できます。オブジェクト グループに関する詳細については、**object-group ip address** コマンドおよび **object-group ip port** コマンドを参照してください。

summary キーワードを使用すると、ACL 設定ではなく ACL に関する情報を表示できます。表示される情報には、次の内容が含まれます。

- エントリ単位の統計情報が ACL に対して設定されているかどうか。
- **fragments** コマンドが ACL に対して設定されているかどうか。
- ACL 設定内のルール数。この数は、デバイスがインターフェイスに適用されるときに ACL 内に含まれるエントリ数を反映しません。ACL 内のルールがオブジェクト グループを使用する場合、適用されるときに ACL 内のエントリ数は、ルール数よりはるかに大きくなる場合があります。
- ACL が適用されているインターフェイス。
- ACL がアクティブ状態のインターフェイス。

show ip access-lists コマンドは、次の両方の状態が真の場合に、ACL 内の各エントリの統計情報を表示します。

- ACL 設定に **statistics per-entry** コマンドが含まれている。
- 管理上アップ状態のインターフェイスに ACL が適用されている。

IP ACL に **fragments** コマンドが含まれる場合、明示的な許可ルールおよび拒否ルールの前にコマンドが表示されます。ただし、デバイスでは、非初期フラグメントが ACL の他のすべての明示的なルールに一致しない場合だけ、**fragments** コマンドが非初期フラグメントに適用されます。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、**show ip access-lists** コマンドを使用して、単一の IPv4 ACL を持つデバイスですべての IPv4 ACL を表示する例を示します。

```
switch# show ip access-lists

IP access list ipv4-open-filter
  10 permit ip any any
```

次に、**show ip access-lists** コマンドを使用して、MainLab オブジェクト グループを除くエントリのエントリ単位の統計情報を含めて、ipv4-RandD-outbound-web という名前の IPv4 ACL を表示する例を示します。

```
switch# show ip access-lists ipv4-RandD-outbound-web

IP access list ipv4-RandD-outbound-web
  statistics per-entry
  fragments deny-all
  1000 permit ahp any any [match=732]
  1005 permit tcp addrgroup MainLab any eq telnet
  1010 permit tcp any any eq www [match=820421]
```

次に、**show ip access-lists** コマンドを使用して、ipv4-RandD-outbound-web という名前の IPv4 ACL を表示する例を示します。**expanded** キーワードを使用すると、エントリ単位の統計情報を含めて、前の例のオブジェクト グループの内容が表示されます。

```
switch# show ip access-lists ipv4-RandD-outbound-web expanded

IP access list ipv4-RandD-outbound-web
  statistics per-entry
  1000 permit ahp any any [match=732]
  1005 permit tcp 10.52.34.4/32 any eq telnet [match=5032]
  1005 permit tcp 10.52.34.27/32 any eq telnet [match=433]
  1010 permit tcp any any eq www [match=820421]
```

次に、**summary** キーワードとともに **show ip access-lists** コマンドを使用して、ACL が適用されているインターフェイス、ACL がアクティブ状態のインターフェイスなどの **ipv4-RandD-outbound-web** という名前の IPv4 ACL に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip access-lists ipv4-RandD-outbound-web summary
IPV4 ACL ipv4-RandD-outbound-web

    Statistics enabled
    Total ACEs Configured: 4
    Configured on interfaces:
        Ethernet2/4 - ingress (Router ACL)
    Active on interfaces:
        Ethernet2/4 - ingress (Router ACL)
```

関連コマンド

コマンド	説明
fragments	IP ACL が非初期フラグメントを処理する方法を設定します。
ip access-list	IPv4 ACL を設定します。
show access-lists	すべての ACL または特定の ACL を表示します。
show mac access-lists	すべての MAC ACL または特定の MAC ACL を表示します。
statistics per-entry	ACL 内の各エントリで許可または拒否されたパケットの統計情報の記録を開始します。

show ip access-lists capture session

ACL のキャプチャ セッションの設定を表示するには、**show ip access-lists capture session** コマンドを使用します。

show ip access-lists capture session *session*

構文の説明

session セッション ID。指定できる範囲は 0 ~ 4294967295 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、ACL のキャプチャ セッションの設定を表示する例を示します。

```
switch# show ip access-lists capture session 5  
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
monitor session <i>session</i>	ACL キャプチャ セッションを設定します。
type acl-capture	
destination interface	ACL キャプチャ パケットの宛先を設定します。

show ip arp inspection

Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP インспекション) 設定ステータスを表示するには、**show ip arp inspection** コマンドを使用します。

show ip arp inspection

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、DAI 設定のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ip arp inspection

Source Mac Validation      : Enabled
Destination Mac Validation : Enabled
IP Address Validation      : Enabled

Vlan : 1
-----
Configuration      : Enabled
Operation State    : Active

ARP Req Forwarded  = 0
ARP Res Forwarded  = 0
ARP Req Dropped    = 0
ARP Res Dropped    = 0
DHCP Drops         = 0
DHCP Permits       = 0
SMAC Fails-ARP Req = 0
SMAC Fails-ARP Res = 0
DMAC Fails-ARP Res = 0
IP Fails-ARP Req   = 0
IP Fails-ARP Res   = 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip arp inspection vlan	VLAN の指定されたリストの DAI をイネーブルにします。
show ip arp inspection interface	指定されたインターフェイスの信頼状態および ARP パケット レートを表示します。
show ip arp inspection log	DAI のログ設定を表示します。
show ip arp inspection statistics	DAI 統計情報を表示します。
show ip arp inspection vlan	VLAN の指定されたリストの DAI ステータスを表示します。
show running-config dhcp	DAI 設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip arp inspection interface

指定されたインターフェイスの信頼状態を表示するには、**show ip arp inspection interface** コマンドを使用します。

show ip arp inspection interface {*ethernet slot/port* | *port-channel channel-number*}

構文の説明

ethernet slot/port	(任意) 出力がイーサネット インターフェイス用になるように指定します。
port-channel channel-number	(任意) 出力がポートチャネル インターフェイス用になるように指定します。有効なポートチャネル番号は、1 ~ 4096 です。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、信頼できるインターフェイスの信頼状態を表示する例を示します。

```
switch# show ip arp inspection interface ethernet 2/1

Interface          Trust State
-----          -
Ethernet2/46      Trusted
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip arp inspection vlan	VLAN の指定されたリストの Dynamic ARP Inspection (DAI; ダイナミック ARP インスペクション) をイネーブルにします。
show ip arp inspection	DAI 設定ステータスを表示します。
show ip arp inspection log	DAI のログ設定を表示します。

コマンド	説明
show ip arp inspection statistics	DAI 統計情報を表示します。
show ip arp inspection vlan	VLAN の指定されたリストの DAI ステータスを表示します。
show running-config dhcp	DAI 設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip arp inspection log

Dynamic ARP Inspection (DAI) ログ設定を表示するには、**show ip arp inspection log** コマンドを使用します。

show ip arp inspection log

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、DAI ログ設定を表示する例を示します。

```
switch# show ip arp inspection log

Syslog Buffer Size : 32
Syslog Rate       : 5 entries per 1 seconds
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip arp inspection log	DAI ログバッファをクリアします。
ip arp inspection log-buffer	DAI のログ バッファ サイズを設定します。
show ip arp inspection	DAI 設定ステータスを表示します。
show ip arp inspection interface	指定されたインターフェイスの信頼状態および ARP パケット レートを表示します。
show running-config dhcp	DAI 設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip arp inspection statistics

Dynamic ARP Inspection (DAI) 統計情報を表示するには、**show ip arp inspection statistics** コマンドを使用します。1 つの VLAN または VLAN の範囲を指定できます。

show ip arp inspection statistics [vlan *vlan-list*]

構文の説明	vlan <i>vlan-list</i> (任意) DAI 統計情報を表示する VLAN のリストを指定します。有効な VLAN ID は、1 ~ 4096 です。
--------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
----------------------	--

コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="border: none;">リリース</th> <th style="border: none;">変更箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: none;">4.0(1)</td> <td style="border: none;">このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更箇所	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更箇所				
4.0(1)	このコマンドが追加されました。				

使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。
-------------------	-------------------------

例	次に、VLAN 1 の DAI 統計情報を表示する例を示します。
----------	----------------------------------

```
switch# show ip arp inspection statistics vlan 1

Vlan : 1
-----
ARP Req Forwarded = 0
ARP Res Forwarded = 0
ARP Req Dropped   = 0
ARP Res Dropped   = 0
DHCP Drops        = 0
DHCP Permits      = 0
SMAC Fails-ARP Req = 0
SMAC Fails-ARP Res = 0
DMAC Fails-ARP Res = 0
IP Fails-ARP Req   = 0
IP Fails-ARP Res   = 0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip arp inspection statistics vlan	指定された VLAN の DAI 統計情報を消去します。
show ip arp inspection	DAI 設定ステータスを表示します。
show ip arp inspection interface	指定されたインターフェイスの信頼状態および ARP パケット レートを表示します。
show ip arp inspection log	DAI のログ設定を表示します。
show running-config dhcp	DAI 設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip arp inspection vlan

指定された VLAN のリストの Dynamic ARP Inspection (DAI) ステータスを表示するには、**show ip arp inspection vlan** コマンドを使用します。

show ip arp inspection vlan *vlan-list*

構文の説明	<i>vlan-list</i>	このコマンドが DAI ステータスを表示する VLAN。 <i>vlan-list</i> 引数を使用すると、単一の VLAN ID、VLAN ID の範囲、またはカンマで区別された ID および範囲を指定できます（「例」を参照）。有効な VLAN ID は、1 ~ 4096 です。
--------------	------------------	--

デフォルト	なし
--------------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
----------------	------------

サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
----------------------	--

コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="border: none;">リリース</th> <th style="border: none;">変更箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="border: none;">4.0(1)</td> <td style="border: none;">このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更箇所	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更箇所				
4.0(1)	このコマンドが追加されました。				

例 次に、VLAN 1 および VLAN 13 の DAI ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ip arp inspection vlan 1,13

Source Mac Validation      : Enabled
Destination Mac Validation : Enabled
IP Address Validation      : Enabled

Vlan : 1
-----
Configuration      : Enabled
Operation State    : Active

Vlan : 13
-----
Configuration      : Enabled
Operation State    : Inactive
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip arp inspection statistics vlan	指定された VLAN の DAI 統計情報を消去します。
ip arp inspection vlan	VLAN の指定されたリストの DAI をイネーブルにします。
show ip arp inspection	DAI 設定ステータスを表示します。
show ip arp inspection interface	指定されたインターフェイスの信頼状態および ARP パケット レートを表示します。
show running-config dhcp	DAI 設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip device tracking

IP デバイス トラッキング情報を表示するには、**show ip device tracking** コマンドを使用します。

```
show ip device tracking {all | interface ethernet slot/port | ip-address ipv4-address | mac-address mac-address}
```

構文の説明

all	すべての IP デバイス トラッキング情報を表示します。
interface ethernet slot/port	インターフェイスの IP トラッキング デバイス情報を表示します。
ip-address ipv4-address	A.B.C.D 形式の IPv4 アドレスの IP トラッキング デバイス情報を表示します。
mac-address mac-address	XXXX.XXXX.XXXX 形式の MAC アドレスの IP トラッキング情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
VDC ユーザ

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべての IP デバイス トラッキング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip device tracking all
```

次に、インターフェイスの IP デバイス トラッキング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip device tracking ethernet 1/2
```

次に、IP アドレスの IP デバイス トラッキング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip device tracking ip-address 10.10.1.1
```

次に、MAC アドレスの IP デバイス トラッキング情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip device tracking mac-address 0018.bad8.3fbd
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip device tracking	IP デバイス トラッキングを設定します。

show ip dhcp relay

インターフェイス上に設定されている DHCP サーバ アドレスを含む DHCP スヌーピング リレーのステータスを表示するには、**show ip dhcp relay** コマンドを使用します。

show ip dhcp relay

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、DHCP リレーのステータスおよび設定済みの DHCP サーバ アドレスを表示する例を示します。

```
switch# show ip dhcp relay
DHCP relay service is enabled
Insertion of option 82 is enabled
Insertion of VPN suboptions is enabled
Helper addresses are configured on the following interfaces:
  Interface          Relay Address      VRF Name
  -----          -
  Ethernet1/4        10.10.10.1         red
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
ip dhcp relay	DHCP リレー エージェントをイネーブルにします。
show ip dhcp relay address	デバイスに設定されている DHCP サーバ アドレスを表示します。

show ip dhcp relay address

デバイスに設定されている DHCP サーバ アドレスを表示するには、**show ip dhcp relay address** コマンドを使用します。

```
show ip dhcp relay address [interface {ethernet list | port-channel list}]
```

```
show ip dhcp relay address [interface interface-list]
```

構文の説明

interface	(任意) イーサネットまたはポートチャネル インターフェイスおよびサブインターフェイスの範囲またはセットに設定されている DHCP アドレスに出力を制限します。
ethernet	(任意) イーサネット インターフェイスおよびサブインターフェイスの範囲またはセットに設定されている DHCP アドレスに出力を制限します。
list	単一のインターフェイス、インターフェイスの範囲、またはカンマで区切ったインターフェイスと範囲（「例」の項を参照してください）。
port-channel	(任意) ポートチャネル インターフェイスおよびサブインターフェイスの範囲またはセットに設定されている DHCP アドレスに出力を制限します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	interface キーワードおよび VRF に対応するためのサポートが追加されました。
4.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、デバイスに設定されているすべての DHCP リレー アドレスを表示する例を示します。

```
switch# show ip dhcp relay address
Interface          Relay Address      VRF Name
-----
Ethernet1/2        10.1.1.1
Ethernet1/3        10.1.1.1          red
Ethernet1/4        10.1.1.1          red
Ethernet1/5        10.1.1.1          red
Ethernet1/6        10.1.1.1          red
Ethernet1/7        10.1.1.1          red
Ethernet1/8        10.1.1.1          red

switch#
```

次に、イーサネット インターフェイス 1/2 から 1/4 およびイーサネット 1/8 に設定された DHCP リレー アドレスを表示する例を示します。

```
switch(config-if)# show ip dhcp relay address interface ethernet 1/2-4,ethernet 1/8
Interface          Relay Address      VRF Name
-----
Ethernet1/2        10.1.1.1
Ethernet1/3        10.1.1.1          red
Ethernet1/4        10.1.1.1          red
Ethernet1/8        10.1.1.1          red
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
ip dhcp relay	DHCP リレー エージェントをイネーブルにします。
show ip dhcp relay	デバイスに設定されている DHCP リレーのステータスおよびサーバ アドレスを表示します。

show ip dhcp snooping

DHCP スヌーピングの一般ステータス情報を表示するには、**show ip dhcp snooping** コマンドを使用します。

show ip dhcp snooping

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、DHCP スヌーピングに関する一般ステータス情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip dhcp snooping
DHCP snooping service is enabled
Switch DHCP snooping is enabled
DHCP snooping is configured on the following VLANs:
1,13
DHCP snooping is operational on the following VLANs:
1
Insertion of Option 82 is disabled
Verification of MAC address is enabled
DHCP snooping trust is configured on the following interfaces:
Interface           Trusted
-----
Ethernet2/3         Yes

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
ip dhcp snooping	デバイスの DHCP スヌーピングをグローバルにイネーブルにします。
show ip dhcp snooping binding	スタティック IP ソース エントリを含めて、IP-MAC アドレス バインディングを表示します。
show ip dhcp snooping statistics	DHCP スヌーピング統計情報を表示します。
show running-config dhcp	DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip dhcp snooping binding

すべてのインターフェイスまたは特定のインターフェイスの IP-to-MAC アドレス バインディングを表示するには、**show ip dhcp snooping binding** コマンドを使用します。これにはスタティック IP ソース エントリが含まれています。スタティック エントリは、[Type] カラムに「static」と表示されます。

```
show ip dhcp snooping binding [IP-address] [MAC-address] [interface ethernet slot/port]
[vlan vlan-id]
```

```
show ip dhcp snooping binding [dynamic]
```

```
show ip dhcp snooping binding [static]
```

構文の説明	
<i>IP-address</i>	(任意) 表示されるバインディングに含める IPv4 アドレス。有効なエントリは、ドット付き 10 進表記です。
<i>MAC-address</i>	(任意) 表示されるバインディングに含める MAC アドレス。有効なエントリは、ドット付き 16 進表記です。
interface ethernet slot/port	(任意) 表示されるバインディングに関連付けるイーサネットインターフェイスを指定します。
vlan vlan-id	(任意) 表示されるバインディングに関連付ける VLAN ID を指定します。有効な VLAN ID は、1 ~ 4096 です。
dynamic	(任意) すべてのダイナミック IP-MAC アドレス バインディングに出力を制限します。
static	(任意) すべてのスタティック IP-MAC アドレス バインディングに出力を制限します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール
network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべてのバインディングを表示する例を示します。

```
switch# show ip dhcp snooping binding
MacAddress      IPAddress      LeaseSec      Type          VLAN  Interface
-----
0f:00:60:b3:23:33  10.3.2.2      infinite     static        13    Ethernet2/46
0f:00:60:b3:23:35  10.2.2.2      infinite     static        100   Ethernet2/10
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip dhcp snooping binding	DHCP スヌーピング バインディング データベースを消去します。
feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
ip dhcp relay	DHCP リレー エージェントをイネーブルまたはディセーブルにします。
ip dhcp snooping	デバイスの DHCP スヌーピングをグローバルにイネーブルにします。
show ip dhcp snooping	DHCP スヌーピングに関する一般的な情報を表示します。
show ip dhcp snooping statistics	DHCP スヌーピング統計情報を表示します。
show running-config dhcp	IP ソース ガード設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip dhcp snooping statistics

DHCP スヌーピング統計情報を表示するには、**show ip dhcp snooping statistics** コマンドを使用します。

show ip dhcp snooping statistics

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、DHCP スヌーピング統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ip dhcp snooping statistics
Packets processed 0
Packets received through cfsoe 0
Packets forwarded 0
Packets forwarded on cfsoe 0
Total packets dropped 0
Packets dropped from untrusted ports 0
Packets dropped due to MAC address check failure 0
Packets dropped due to Option 82 insertion failure 0
Packets dropped due to o/p intf unknown 0
Packets dropped which were unknown 0
Packets dropped due to dhcp relay not enabled 0
Packets dropped due to no binding entry 0
Packets dropped due to interface error/no interface 0
Packets dropped due to max hops exceeded 0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
ip dhcp snooping	デバイスの DHCP スヌーピングをグローバルにイネーブルにします。
service dhcp	DHCP リレー エージェントをイネーブルまたはディセーブルにします。
show ip dhcp snooping	DHCP スヌーピングに関する一般的な情報を表示します。
show ip dhcp snooping binding	スタティック IP ソース エントリを含めて、IP-MAC アドレス バインディングを表示します。
show running-config dhcp	DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ip verify source

IP-to-MAC アドレス バインディングを表示するには、**show ip verify source** コマンドを使用します。

show ip verify source [**interface** {**ethernet slot/port** | **port-channel channel-number**}]

構文の説明

interface	(任意) 出力が特定のインターフェイスの IP-to-MAC アドレス バインディングに制限されるように指定します。
ethernet slot/port	(任意) 出力が所定のイーサネット インターフェイスのバインディングに制限されるように指定します。
port-channel channel-number	(任意) 出力が所定のポートチャネル インターフェイスのバインディングに制限されるように指定します。有効なポートチャネル番号は、1 ~ 4096 です。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、IP-to-MAC アドレス バインディングを表示する例を示します。

```
switch# show ip verify source
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip source binding	指定したイーサネット インターフェイスのスタティック IP ソース エントリを作成します。
ip verify source dhcp-snooping-vlan	インターフェイスの IP ソース ガードをイネーブルにします。
show running-config dhcp	IP ソース ガード設定を含めて、DHCP スヌーピング設定を表示します。

show ipv6 access-lists

すべての IPv6 Access Control List (ACL) または特定の IPv6 ACL を表示するには、**show ipv6 access-lists** コマンドを使用します。

show ipv6 access-lists [*access-list-name*] [**expanded** | **summary**]

構文の説明

<i>access-list-name</i>	(任意) IPv6 ACL の名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
expanded	(任意) オブジェクトグループの名前だけでなく、IPv6 アドレス グループまたはポートグループの内容を表示するように指定します。
summary	(任意) コマンドが ACL 設定ではなく、ACL に関する情報を表示するように指定します。詳細については、「使用上のガイドライン」を参照してください。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.2(1)	コマンド出力は、ACL 名によってアルファベット順にソートされます。 fragments コマンドのサポートが追加されました。
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

access-list-name 引数を使用して ACL を指定する場合を除いて、デバイスはすべての IPv6 ACL を表示します。

ACL 名を指定しない場合、デバイスでは、ACL 名によってアルファベット順に ACL のリストが表示されます。

expanded キーワードを使用する場合を除いて、IPv6 アドレス オブジェクトグループおよび IP ポート オブジェクトグループは名前だけで表示されます。

expanded キーワードを使用すると、オブジェクトグループの名前だけでなく、ACL で使用されているオブジェクトグループの詳細を表示できます。オブジェクトグループに関する詳細については、**object-group ipv6 address** コマンドおよび **object-group ip port** コマンドを参照してください。

summary キーワードを使用すると、ACL 設定ではなく ACL に関する情報を表示できます。表示される情報には、次の内容が含まれます。

- エントリ単位の統計情報が ACL に対して設定されているかどうか。
- **fragments** コマンドが ACL に対して設定されているかどうか。
- ACL 設定内のルール数。この数は、デバイスがインターフェイスに適用されるときに ACL 内に含まれるエントリ数を反映しません。ACL 内のルールがオブジェクト グループを使用する場合、適用されるときに ACL 内のエントリ数は、ルール数よりはるかに大きくなる場合があります。
- ACL が適用されているインターフェイス。
- ACL がアクティブ状態のインターフェイス。

show ipv6 access-lists コマンドは、次の両方の状態が真の場合に、ACL 内の各エントリの統計情報を表示します。

- ACL 設定に **statistics per-entry** コマンドが含まれている。
- 管理上アップ状態のインターフェイスに ACL が適用されている。

IP ACL に **fragments** コマンドが含まれる場合、明示的な許可ルールおよび拒否ルールの前にコマンドが表示されます。ただし、デバイスでは、非初期フラグメントが ACL の他のすべての明示的なルールに一致しない場合だけ、**fragments** コマンドが非初期フラグメントに適用されます。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、**show ipv6 access-lists** コマンドを使用して、単一の IPv6 ACL を持つデバイスですべての IPv6 ACL を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 access-lists

IPv6 access list ipv6-main-filter
  10 permit ipv6 any any
```

次に、**show ipv6 access-lists** コマンドを使用して、LowerLab オブジェクト グループを除くエントリのエントリ単位の統計情報を含めて、ipv6-RandD-outbound-web という名前の IPv6 ACL を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 access-lists ipv6-RandD-outbound-web

IPv6 access list ipv6-RandD-outbound-web
  statistics per-entry
  fragments deny-all
  1000 permit ahp any any [match=732]
  1005 permit tcp addrgroup LowerLab any eq telnet
  1010 permit tcp any any eq www [match=820421]
```

次に、**show ipv6 access-lists** コマンドを使用して、ipv6-RandD-outbound-web という名前の IPv6 ACL を表示する例を示します。**expanded** キーワードを使用すると、エントリ単位の統計情報を含めて、前の例のオブジェクト グループの内容が表示されます。

```
switch# show ipv6 access-lists ipv6-RandD-outbound-web expanded

IPv6 access list ipv6-RandD-outbound-web
  statistics per-entry
  1000 permit ahp any any [match=732]
  1005 permit tcp 2001:db8:0:3ab0::1/128 any eq telnet [match=5032]
  1005 permit tcp 2001:db8:0:3ab0::32/128 any eq telnet [match=433]
  1010 permit tcp any any eq www [match=820421]
```

次に、**summary** キーワードとともに **show ipv6 access-lists** コマンドを使用して、ACL が適用されているインターフェイス、ACL がアクティブ状態のインターフェイスなどの ipv6-RandD-outbound-web という名前の IPv6 ACL に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ipv6 access-lists ipv6-RandD-outbound-web summary
IPV6 ACL ipv6-RandD-outbound-web

Statistics enabled
Total ACEs Configured: 4
Configured on interfaces:
    Ethernet2/4 - ingress (Router ACL)
Active on interfaces:
    Ethernet2/4 - ingress (Router ACL)
```

関連コマンド

コマンド	説明
fragments	IP ACL が非初期フラグメントを処理する方法を設定します。
ipv6 access-list	IPv6 ACL を設定します。
show access-lists	すべての ACL または特定の ACL を表示します。
show ip access-lists	すべての IPv4 ACL または特定の IPv4 ACL を表示します。
show mac access-lists	すべての MAC ACL または特定の MAC ACL を表示します。
statistics per-entry	ACL 内の各エントリで許可または拒否されたパケットの統計情報の記録を開始します。

show key chain

特定のキーチェーンの設定を表示するには、**show key chain** コマンドを使用します。

show key chain *keychain-name* [**mode decrypt**]

構文の説明	
<i>keychain-name</i>	設定するキーチェーンの名前。最大 63 文字の英数字を指定できます。
mode decrypt	(任意) クリアテキストでキー テキスト設定を表示します。このオプションは、 network-admin または vdc-admin ユーザ ロールが割り当てられたユーザ アカウントでデバイスにアクセスするときだけ使用できます。

デフォルト なし

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール
network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、特定の受け入れライフタイムおよび送信ライフタイムを持つ 1 つのキー（キー 13）を含むキーチェーン **glbp-key** のキーチェーン設定を表示する例を示します。

```
switch# show key chain
Key-Chain glbp-keys
  Key 13 -- text 7 071a33595c1d0c1702170203163e3e21213c20361a021f11
    accept lifetime UTC (00:00:00 Jun 13 2008) - (23:59:59 Sep 12 2008)
    send lifetime UTC (00:00:00 Jun 13 2008) - (23:59:59 Aug 12 2008)
```

関連コマンド	コマンド	説明
	accept-lifetime	キーの受け入れライフタイムを設定します。
	key	キーを設定します。
	key chain	キーチェーンを設定します。
	key-string	キーのストリングを設定します。
	send-lifetime	キーの送信ライフタイムを設定します。

show ldap-search-map

設定された Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 属性マップに関する情報を表示するには、**show ldap-search-map** コマンドを使用します。

show ldap-search-map

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LDAP 情報を表示する前に、**feature ldap** コマンドを使用する必要があります。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、設定済みの LDAP 属性マップに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show ldap-search-map
total number of search maps : 1

following LDAP search maps are configured:
SEARCH MAP s0:
  User Profile:
    BaseDN: DN1
    Attribute Name: map1
    Search Filter: filter1
```

関連コマンド

コマンド	説明
attribute-name	ユーザプロファイル、信頼できる証明書、CRL、証明書 DN 一致、公開キー一致、または user-switchgroup ルックアップ検索操作の属性名、検索フィルタ、およびベース DN を設定します。
feature ldap	LDAP をイネーブルにします。

コマンド	説明
ldap search-map	LDAP 検索マップを設定します。
ldap-server host	LDAP サーバの IPv4 または IPv6 アドレス、あるいはホスト名を指定します。

show ldap-server

Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サーバ設定を表示するには、**show ldap-server** コマンドを使用します。

show ldap-server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LDAP 情報を表示する前に、**feature ldap** コマンドを使用する必要があります。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、LDAP サーバ設定を表示する例を示します。

```
switch# show ldap-server
  timeout : 5
  port : 389
  deadtime : 0
total number of servers : 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature ldap	LDAP をイネーブルにします。
ldap-server host	LDAP サーバの IPv4 または IPv6 アドレス、あるいはホスト名を指定します。

show ldap-server groups

Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サーバ グループ設定を表示するには、**show ldap-server groups** コマンドを使用します。

show ldap-server groups

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LDAP 情報を表示する前に、**feature ldap** コマンドを使用する必要があります。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、LDAP サーバ グループ設定を表示する例を示します。

```
switch# show ldap-server groups
total number of groups: 1

following LDAP server groups are configured:
  group LDAPgroup1:
    Use-vrf: default
    Mode: UnSecure
    Authentication: Search and Bind
    Bind and Search : append with basedn (cn=$userid)
    Authentication: Do bind instead of compare
    Bind and Search : compare passwd attribute userPassword
    Authentication Mech: Default (PLAIN)
    Search map:
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>aaa group server ldap</code>	LDAP サーバグループを作成し、そのグループの LDAP サーバグループ コンフィギュレーション モードを開始します。
<code>feature ldap</code>	LDAP をイネーブルにします。

show ldap-server statistics

Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サーバ統計情報を表示するには、**show ldap-server statistics** コマンドを使用します。

```
show ldap-server statistics {ipv4-address | ipv6-address | host-name}
```

構文の説明

<i>ipv4-address</i>	A.B.C.D 形式のサーバの IPv4 アドレス
<i>ipv6-address</i>	X:X:X:X 形式のサーバの IPv6 アドレス
<i>host-name</i>	サーバ名。名前は、英数字で指定します。大文字と小文字が区別され、最大文字数は 256 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LDAP 情報を表示する前に、**feature ldap** コマンドを使用する必要があります。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、LDAP サーバの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show ldap-server statistics 10.10.1.1
Server is not monitored

Authentication Statistics
  failed transactions: 0
  successfull transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>feature ldap</code>	LDAP をイネーブルにします。
<code>ldap-server host</code>	LDAP サーバの IPv4 または IPv6 アドレス、あるいはホスト名を指定します。

show mac access-lists

すべての MAC Access Control List (ACL) または特定の MAC ACL を表示するには、**show mac access-lists** コマンドを使用します。

show mac access-lists [*access-list-name*] [**summary**]

構文の説明

<i>access-list-name</i>	(任意) MAC ACL の名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
summary	(任意) コマンドが ACL 設定ではなく、ACL に関する情報を表示するように指定します。詳細については、「使用上のガイドライン」を参照してください。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.2(1)	コマンド出力は、ACL 名によってアルファベット順にソートされます。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

access-list-name 引数を使用して ACL を指定する場合を除いて、デバイスはすべての MAC ACL を表示します。

ACL 名を指定しない場合、デバイスでは、ACL 名によってアルファベット順に ACL のリストが表示されます。

summary キーワードを使用すると、ACL 設定ではなく ACL に関する情報を表示できます。表示される情報には、次の内容が含まれます。

- エントリ単位の統計情報が ACL に対して設定されているかどうか。
- ACL 設定内のルール数。この数は、デバイスがインターフェイスに適用されるときに ACL 内に含まれるエントリ数を反映しません。ACL 内のルールがオブジェクトグループを使用する場合、適用されるときに ACL 内のエントリ数は、ルール数よりはるかに大きくなる場合があります。
- ACL が適用されているインターフェイス。
- ACL がアクティブ状態のインターフェイス。

show mac access-lists コマンドは、次の両方の状態が真の場合に、ACL 内の各エントリの統計情報を表示します。

- ACL 設定に **statistics per-entry** コマンドが含まれている。
- 管理上アップ状態のインターフェイスに ACL が適用されている。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、**show mac access-lists** コマンドを使用して、単一の MAC ACL を持つデバイスですべての MAC ACL を表示する例を示します。

```
switch# show mac access-lists

MAC access list mac-filter
  10 permit any any ip
```

次に、**show mac access-lists** コマンドを使用して、エントリ単位の統計情報を含めて、**mac-lab-filter** という名前の MAC ACL を表示する例を示します。

```
switch# show mac access-lists mac-lab-filter

MAC access list mac-lab-filter
  statistics per-entry
  10 permit 0600.ea5f.22ff 0000.0000.0000 any [match=820421]
  20 permit 0600.050b.3ee3 0000.0000.0000 any [match=732]
```

次に、**summary** キーワードとともに **show mac access-lists** コマンドを使用して、ACL が適用されているインターフェイス、ACL がアクティブ状態のインターフェイスなどの **mac-lab-filter** という名前の MAC ACL に関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show mac access-lists mac-lab-filter summary

MAC ACL mac-lab-filter

  Statistics enabled
  Total ACEs Configured: 2
  Configured on interfaces:
    Ethernet2/3 - ingress (Port ACL)
  Active on interfaces:
    Ethernet2/3 - ingress (Port ACL)
```

関連コマンド

コマンド	説明
mac access-list	MAC ACL を設定します。
show access-lists	すべての ACL または特定の ACL を表示します。
show ip access-lists	すべての IPv4 ACL または特定の IPv4 ACL を表示します。
show ipv6 access-lists	すべての IPv6 ACL または特定の IPv6 ACL を表示します。

show password strength-check

パスワードの強度の確認ステータスを表示するには、**show password strength-check** コマンドを使用します。

show password strength-check

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(3)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、パスワードの強度の確認ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show password strength-check
Password strength check enabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
password strength-check	パスワードの強度確認をイネーブルにします。
show running-config security	実行コンフィギュレーションのセキュリティ機能設定を表示します。

show policy-map type control-plane

コントロールプレーン ポリシー マップ情報を表示するには、**show policy-map type control-plane** コマンドを使用します。

```
show policy-map type control-plane [expand] [name policy-map-name]
```

構文の説明	
expand	(任意) 拡張されたコントロールプレーン ポリシー マップ情報を表示します。
name <i>policy-map-name</i>	(任意) コントロールプレーン ポリシー マップの名前を指定します。名前では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドはデフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) 内でのみ使用できます。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、コントロールプレーンポリシーマップ情報を表示する例を示します。

```
switch# show policy-map type control-plane

policy-map type control-plane copp-system-policy
  class copp-system-class-critical
    police cir 2000 kbps bc 1500 bytes pir 3000 kbps be 1500 bytes conform transmit
    exceed transmit violate drop
  class copp-system-class-important
    police cir 1000 kbps bc 1500 bytes pir 1500 kbps be 1500 bytes conform transmit
    exceed transmit violate drop
  class copp-system-class-normal
    police cir 400 kbps bc 1500 bytes pir 600 kbps be 1500 bytes conform transmit
    exceed transmit violate drop
  class class-default
    police cir 200 kbps bc 1500 bytes pir 300 kbps be 1500 bytes conform transmit
    exceed transmit violate drop
```

show port-security

デバイスのポートセキュリティの状態を表示するには、**show port-security** コマンドを使用します。

show port-security [state]

構文の説明	state (任意) ポートセキュリティがイネーブルにされていることを表示します。
-------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	任意のコマンドモード
---------	------------

サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
---------------	--

リリース	変更箇所
4.2(1)	レイヤ 2 ポート チャネル インターフェイスがサポートされるようになりました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。
------------	-------------------------

例	次に、 show port-security コマンドを使用して、デバイスのポートセキュリティ機能のステータスを表示する例を示します。
---	--

```
switch# show port-security

Total Secured Mac Addresses in System (excluding one mac per port)      : 0
Max Addresses limit in System (excluding one mac per port) : 8192

-----
Secure Port  MaxSecureAddr  CurrentAddr  SecurityViolation  Security Action
              (Count)         (Count)         (Count)
-----
Ethernet1/4          5             1             0                 Shutdown
=====
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature port-security	ポートセキュリティ機能をイネーブルにします。
show port-security address	ポートセキュリティ機能によって保護されている MAC アドレスを表示します。
show port-security interface	特定のインターフェイスのポートセキュリティステータスを表示します。
switchport port-security	レイヤ 2 インターフェイスにポートセキュリティを設定します。

show port-security address

ポートセキュリティ機能によって保護されている MAC アドレスに関する情報を表示するには、**show port-security address** コマンドを使用します。

```
show port-security address [interface {port-channel channel-number | ethernet
                             slot/port}]
```

構文の説明

interface	(任意) ポートセキュリティ MAC アドレス情報を特定のインターフェイスに制限します。
port-channel <i>channel-number</i>	レイヤ 2 ポートチャネル インターフェイスを指定します。 <i>channel-number</i> 引数には、1 ~ 4096 の整数を指定できます。
ethernet <i>slot/port</i>	イーサネット インターフェイスを指定します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.2(1)	レイヤ 2 ポート チャネル インターフェイスがサポートされるようになりました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

show port-security address

例

次に、**show port-security address** コマンドを使用して、ポートセキュリティによって保護されているすべての MAC アドレスに関する情報を表示する例を示します。

```
switch# show port-security address

Total Secured Mac Addresses in System (excluding one mac per port)      : 0
Max Addresses limit in System (excluding one mac per port) : 8192

-----
                        Secure Mac Address Table
-----
Vlan    Mac Address                Type           Ports           Remaining Age
-----
-----
      1    0054.AAB3.770F             STATIC         port-channell   0
      1    00EE.378A.ABCE             STATIC         Ethernet1/4     0
=====
switch#
```

次に、**show port-security address** コマンドを使用して、イーサネット 1/4 インターフェイス上のポートセキュリティ機能によって保護されている MAC アドレスを表示する例を示します。

```
switch# show port-security address interface ethernet 1/4
                        Secure Mac Address Table
-----
Vlan    Mac Address                Type           Ports           Remaining Age
-----
-----
      1    00EE.378A.ABCE             STATIC         Ethernet1/4     0
=====
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature port-security	ポートセキュリティ機能をイネーブルにします。
show port-security	ポートセキュリティ機能のステータスを表示します。
show port-security interface	特定のインターフェイスのポートセキュリティステータスを表示します。
switchport port-security	レイヤ 2 インターフェイスにポートセキュリティを設定します。

show port-security interface

特定のインターフェイス上のポートセキュリティの状態を表示するには、**show port-security interface** コマンドを使用します。

show port-security interface {port-channel *channel-number* | ethernet *slot/port*}

構文の説明

port-channel	レイヤ 2 ポートチャネル インターフェイスを指定します。 <i>channel-number</i> 引数には、1 ~ 4096 の整数を指定できます。
ethernet <i>slot/port</i>	イーサネット インターフェイスを指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.2(1)	レイヤ 2 ポート チャネル インターフェイスがサポートされるようになりました。
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、**show port-security interface** コマンドを使用して、イーサネット 1/4 インターフェイスのポートセキュリティ機能のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show port-security interface ethernet 1/4
Port Security           : Enabled
Port Status             : Secure Down
Violation Mode          : Shutdown
Aging Time              : 0 mins
Aging Type              : Absolute
Maximum MAC Addresses  : 5
Total MAC Addresses    : 1
Configured MAC Addresses : 1
Sticky MAC Addresses   : 0
Security violation count : 0
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature port-security	ポートセキュリティ機能をイネーブルにします。
show port-security	ポートセキュリティ機能のステータスを表示します。
show port-security address	ポートセキュリティ機能によって保護されている MAC アドレスを表示します。
switchport port-security	レイヤ 2 インターフェイスにポートセキュリティを設定します。

show privilege

現在の権限レベル、ユーザ名、および累積権限サポートのステータスを表示するには、**show privilege** コマンドを使用します。

show privilege

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、**show privilege** コマンドを使用して、現在の権限レベル、ユーザ名、および累積権限サポートのステータスを表示する例を示します。

```
switch# show privilege
User name: admin
Current privilege level: -1
Feature privilege: Enabled
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
enable level	上位の特権レベルへのユーザの昇格をイネーブルにします。
enable secret priv-lvl	特定の権限レベルのシークレットパスワードをイネーブルにします。
feature privilege	TACACS+ サーバでのコマンド認可に対するロールの累積権限をイネーブルにします。
username username priv-lvl	ユーザが認可に権限レベルを使用できるようにします。

show radius

RADIUS Cisco Fabric Services (CFS) 配信ステータスおよびその他の詳細を表示するには、**show radius** コマンドを使用します。

show radius {distribution status | merge status | pending [cmds] | pending-diff | session status | status}

構文の説明

distribution status	RADIUS CFS 配信のステータスを表示します。
merge status	RADIUS マージのステータスを表示します。
pending	実行コンフィギュレーションにまだ適用されていない保留中の設定を表示します。
cmds	(任意) 保留中の設定に対するコマンドを表示します。
pending-diff	アクティブな設定と保留中の設定との間の違いを表示します。
session status	RADIUS CFS セッションのステータスを表示します。
status	RADIUS CFS のステータスを表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、RADIUS CFS 配信ステータスを表示する方法を示します。

```
switch# show radius distribution status
distribution : enabled
session ongoing: no
session db: does not exist
merge protocol status: not yet initiated after enable

last operation: enable
last operation status: success
```

次に、RADIUS マージ ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show radius merge status
Result: Waiting
```

次に、RADIUS CFS セッション ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show radius session status
Last Action Time Stamp      : None
Last Action                  : Distribution Enable
Last Action Result          : Success
Last Action Failure Reason  : none
```

次に、RADIUS CFS ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show radius status
distribution : enabled
session ongoing: no
session db: does not exist
merge protocol status: not yet initiated after enable

last operation: enable
last operation status: success
```

次に、保留中の RADIUS の設定を表示する例を示します。

```
switch# show radius pending
radius-server host 10.10.1.1 key 7 qxz123aaa group server radius aaa-private-sg
```

次に、保留中の RADIUS コンフィギュレーション コマンドを表示する例を示します。

```
switch# show radius pending cmds
radius-server host 10.10.1.1 key 7 qxz12345 auth_port 1812 acct_port 1813 authentication
accounting
```

次に、保留中の RADIUS の設定と、現在の RADIUS の設定の差異を表示する例を示します。

```
switch(config)# show radius pending-diff
+radius-server host 10.10.1.1 authentication accounting
```

show radius-server

RADIUS サーバ情報を表示するには、**show radius-server** コマンドを表示します。

```
show radius-server [hostname | ipv4-address | ipv6-address]
[directed-request | groups | sorted | statistics]
```

構文の説明

<i>hostname</i>	(任意) RADIUS サーバの Domain Name Server (DNS; ドメイン ネーム サーバ) 名。名前では、大文字と小文字が区別されます。
<i>ipv4-address</i>	(任意) A.B.C.D 形式の RADIUS サーバの IPv4 アドレス。
<i>ipv6-address</i>	(任意) X:X:X:X 形式の RADIUS サーバの IPv6 アドレス。
directed-request	(任意) 指定要求設定を表示します。
groups	(任意) 設定された RADIUS サーバグループに関する情報を表示します。
sorted	(任意) RADIUS サーバに関する名前でソートされた情報を表示します。
statistics	(任意) RADIUS サーバの RADIUS 統計情報を表示します。

デフォルト

グローバル RADIUS サーバ設定を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

RADIUS 事前共有キーは、**show radius-server** コマンド出力には表示されません。RADIUS 事前共有キーを表示するには、**show running-config radius** コマンドを使用します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべての RADIUS サーバの情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server
Global RADIUS shared secret:*****
retransmission count:1
timeout value:5
deadtime value:0
total number of servers:2

following RADIUS servers are configured:
 10.10.1.1:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
 10.10.2.2:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
```

次に、指定された RADIUS サーバの情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server 10.10.1.1
 10.10.1.1:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
    idle time:0
    test user:test
    test password:*****
```

次に、RADIUS 指定要求設定を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server directed-request
enabled
```

次に、RADIUS サーバグループの情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server groups
total number of groups:2

following RADIUS server groups are configured:
group radius:
  server: all configured radius servers
group RadServer:
  deadtime is 0
  vrf is management
```

次に、指定された RADIUS サーバグループの情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server groups RadServer
group RadServer:
  deadtime is 0
  vrf is management
```

次に、すべての RADIUS サーバのソートされた情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server sorted
Global RADIUS shared secret:*****
retransmission count:1
timeout value:5
deadtime value:0
total number of servers:2

following RADIUS servers are configured:
  10.10.0.0:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
  10.10.1.1:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
```

次に、指定された RADIUS サーバの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show radius-server statistics 10.10.1.1
Server is not monitored

Authentication Statistics
  failed transactions: 0
  sucessfull transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0

Accounting Statistics
  failed transactions: 0
  sucessfull transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config radius	実行コンフィギュレーション ファイルの RADIUS 情報を表示します。

show role

ユーザ ロール設定を表示するには、**show role** コマンドを使用します。

show role [*name role-name*]

構文の説明	name <i>role-name</i>	(任意) 特定のユーザ ロール名の情報を表示します。ロール名では、大文字と小文字が区別されます。
-------	------------------------------	--

デフォルト すべてのユーザ ロールの情報を表示します。

コマンド モード 任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール
network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、特定のユーザ ロールの情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role name MyRole
```

```
role: MyRole
description: new role
vlan policy: deny
permitted vlan
1-10
interface policy: deny
permitted interface
Ethernet2/1-8
vrf policy: permit (default)
```

次に、デフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) のすべてのユーザ ロールの情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role
```

```
role: network-admin
  description: Predefined network admin role has access to all commands
               on the switch
-----
Rule   Perm   Type   Scope   Entity
-----
1      permit read-write

role: network-operator
  description: Predefined network operator role has access to all read
               commands on the switch
-----
Rule   Perm   Type   Scope   Entity
-----
1      permit read

role: vdc-admin
  description: Predefined vdc admin role has access to all commands within
               a VDC instance
-----
Rule   Perm   Type   Scope   Entity
-----
1      permit read-write

role: vdc-operator
  description: Predefined vdc operator role has access to all read commands
               within a VDC instance
-----
Rule   Perm   Type   Scope   Entity
-----
1      permit read

role: MyRole
  description: new role
  vlan policy: deny
  permitted vlan
  1-10
  interface policy: deny
  permitted interface
  Ethernet2/1-8
  vrf policy: permit (default)
```

次に、デフォルト以外の仮想デバイス コンテキスト (VDC) のすべてのユーザ ロールの情報を表示する例を示します。

```
switch-MyVDC# show role
```

```
role: vdc-admin
description: Predefined vdc admin role has access to all commands within
a VDC instance
```

```
-----
Rule      Perm      Type      Scope      Entity
-----
1          permit   read-write
```

```
role: vdc-operator
description: Predefined vdc operator role has access to all read commands
within a VDC instance
```

```
-----
Rule      Perm      Type      Scope      Entity
-----
1          permit   read
```

関連コマンド

コマンド	説明
role name	ユーザ ロールを設定します。

show role feature

ユーザ ロール機能を表示するには、**show role feature** コマンドを使用します。

show role feature [**detail** | **name** *feature-name*]

構文の説明

detail	(任意) すべての機能の詳細情報を表示します。
name <i>feature-name</i>	(任意) 特定の機能の詳細情報を表示します。機能名では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト

ユーザ ロール機能名のリストを表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、ユーザ ロール機能を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature
feature: aaa
feature: access-list
feature: arp
feature: callhome
feature: cdp
feature: crypto
feature: gold
feature: install
feature: l3vm
feature: license
feature: ping
feature: platform
feature: qosmgr
feature: radius
feature: scheduler
feature: snmp
feature: syslog
<content deleted>
```

次に、すべてのユーザ ロール機能の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature detail
feature: aaa
  show aaa *
  config t ; aaa *
  aaa *
  clear aaa *
  debug aaa *
  show accounting *
  config t ; accounting *
  accounting *
  clear accounting *
  debug accounting *
feature: access-list
  show ip access-list *
  show ipv6 access-list *
  show mac access-list *
  show arp access-list *
  show vlan access-map *
  config t ; ip access-list *
  config t ; ipv6 access-list *
  config t ; mac access-list *
  config t ; arp access-list *
  config t ; vlan access-map *
  clear ip access-list *
  clear ipv6 access-list *
  clear mac access-list *
  clear arp access-list *
  clear vlan access-map *
  debug aclmgr *
feature: arp
  show arp *
  show ip arp *
  config t; ip arp *
  clear ip arp *
  debug ip arp *
  debug-filter ip arp *
<content deleted>
```

次に、特定のユーザ ロール機能の詳細情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature name dot1x
feature: dot1x
  show dot1x *
  config t ; dot1x *
  dot1x *
  clear dot1x *
  debug dot1x *
```

関連コマンド

コマンド	説明
role feature-group	ユーザ ロールの機能グループを設定します。
rule	ユーザ ロールのルールを設定します。

show role feature-group

ユーザ ロール機能グループを表示するには、**show role feature-group** コマンドを使用します。

show role feature-group [**detail** | *name group-name*]

構文の説明	detail	(任意) すべての機能グループの詳細情報を表示します。
	name group-name	(任意) 特定の機能グループの詳細情報を表示します。グループ名では、大文字と小文字が区別されます。

デフォルト ユーザ ロール機能グループのリストを表示します。

コマンドモード 任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

- network-admin
- network-operator
- vdc-admin
- vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、ユーザ ロール機能グループを表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature-group
```

```
feature group: L3  
feature: router-bgp  
feature: router-eigrp  
feature: router-isis  
feature: router-ospf  
feature: router-rip
```

```
feature group: SecGroup  
feature: aaa  
feature: radius  
feature: tacacs
```

次に、すべてのユーザ ロール機能グループに関する詳細情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature-group detail
```

```
feature group: L3
feature: router-bgp
  show bgp *
  config t ; bgp *
  bgp *
  clear bgp *
  debug bgp *
  show ip bgp *
  show ip mbgp *
  show ipv6 bgp *
  show ipv6 mbgp *
  clear ip bgp *
  clear ip mbgp *
  debug-filter ip *
  debug-filter ip bgp *
  config t ; router bgp *
feature: router-eigrp
  show eigrp *
  config t ; eigrp *
  eigrp *
  clear eigrp *
  debug eigrp *
  show ip eigrp *
  clear ip eigrp *
  debug ip eigrp *
  config t ; router eigrp *
feature: router-isis
  show isis *
  config t ; isis *
  isis *
  clear isis *
  debug isis *
  debug-filter isis *
  config t ; router isis *
feature: router-ospf
  show ospf *
  config t ; ospf *
  ospf *
  clear ospf *
  debug ospf *
  show ip ospf *
  show ospfv3 *
  show ipv6 ospfv3 *
  debug-filter ip ospf *
  debug-filter ospfv3 *
  debug ip ospf *
  debug ospfv3 *
  clear ip ospf *
  clear ip ospfv3 *
  config t ; router ospf *
  config t ; router ospfv3 *
feature: router-rip
  show rip *
  config t ; rip *
  rip *
  clear rip *
  debug rip *
  show ip rip *
  show ipv6 rip *
  overload rip *
```

```
debug-filter rip *
clear ip rip *
clear ipv6 rip *
config t ; router rip *
```

次に、特定のユーザ ロール機能グループの情報を表示する例を示します。

```
switch(config)# show role feature-group name SecGroup

feature group: SecGroup
feature: aaa
feature: radius
feature: tacacs
```

関連コマンド

コマンド	説明
role feature-group	ユーザ ロールの機能グループを設定します。
rule	ユーザ ロールのルールを設定します。

show role pending

Cisco Fabric Services 配信セッションの保留中のユーザ ロール設定の違いを表示するには、**show role pending** コマンドを使用します。

show role pending

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

Cisco Fabric Services セッションのユーザ ロール設定の違いを表示する例を使用します。

```
switch# show role pending
Role: test-user
  Description: new role
  Vlan policy: permit (default)
  Interface policy: permit (default)
  Vrf policy: permit (default)
-----
Rule      Perm   Type      Scope      Entity
-----
1         permit read-write feature      aaa
```

関連コマンド

コマンド	説明
role distribute	ユーザ ロール設定に対し、Cisco Fabric Services 配信をイネーブルにします。

show role pending-diff

Cisco Fabric Services 配信セッションと実行コンフィギュレーションの間での、保留中のユーザ ロール設定の違いを表示するには、**show role pending-diff** コマンドを使用します。

show role pending-diff

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

Cisco Fabric Services セッションのユーザ ロール設定の違いを表示する例を使用します。

```
switch# show role pending
+Role: test-user
+ Description: new role
+ Vlan policy: permit (default)
+ Interface policy: permit (default)
+ Vrf policy: permit (default)
+ -----
+ Rule      Perm      Type      Scope      Entity
+ -----
+ 1         permit   read-write feature      aaa
```

関連コマンド

コマンド	説明
role distribute	ユーザ ロール設定に対し、Cisco Fabric Services 配信をイネーブルにします。

show role session

ユーザ ロール Cisco Fabric Services セッションのステータス情報を表示するには、**show role session** コマンドを使用します。

show role session status

構文の説明

status (任意) ロールのセッションのステータスを表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

Cisco Fabric Services セッションのユーザ ロール設定の違いを表示する例を使用します。

```
switch# show role session status
Last Action Time Stamp      : Thu Nov 20 12:43:26 2008
Last Action                  : Distribution Enable
Last Action Result          : Success
Last Action Failure Reason  : none
```

関連コマンド

コマンド	説明
role distribute	ユーザ ロール設定に対し、Cisco Fabric Services 配信をイネーブルにします。

show role status

ユーザ ロール機能の Cisco Fabric Services 配信のステータスを表示するには、**show role status** コマンドを使用します。

show role status

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

Cisco Fabric Services セッションのユーザ ロール設定の違いを表示する例を使用します。

```
switch# show role status
Distribution: Enabled
Session State: Locked
```

関連コマンド

コマンド	説明
role distribute	ユーザ ロール設定に対し、Cisco Fabric Services 配信をイネーブルにします。

show running-config aaa

実行コンフィギュレーションの Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、認可、アカウント) 設定情報を表示するには、**show running-config aaa** コマンドを使用します。

show running-config aaa [all]

構文の説明	all	(任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator	
コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。	
例	次に、実行コンフィギュレーションの設定済み AAA 情報を表示する例を示します。	
	<pre>switch# show running-config aaa version 4.0(1)</pre>	

show running-config aclmgr

実行コンフィギュレーションのユーザ設定のアクセス コントロール リスト (ACL) を表示するには、**show running-config aclmgr** コマンドを使用します。

show running-config aclmgr [all | inactive-if-config]

構文の説明	all	実行コンフィギュレーション内のデフォルト (CoPP 設定) ACL とユーザ設定 ACL の両方を表示します。
	inactive-if-config	実行コンフィギュレーション内の非アクティブ ポリシーを表示します。

デフォルト なし

コマンド モード 任意

サポートされるユーザ ロール
network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、実行コンフィギュレーションのユーザ設定 ACL を表示する例を示します。

```
switch# show running-config aclmgr all
!Command: show running-config aclmgr all
!Time: Wed May 25 08:03:46 2011

version 5.2(1)
ip access-list acl1
ip access-list cisco123-copp-acl-bgp
  10 permit tcp any gt 1024 any eq bgp
  20 permit tcp any eq bgp any gt 1024
ipv6 access-list cisco123-copp-acl-bgp6
  10 permit tcp any gt 1024 any eq bgp
  20 permit tcp any eq bgp any gt 1024
ip access-list cisco123-copp-acl-cts
  10 permit tcp any any eq 64999
  20 permit tcp any eq 64999 any
ip access-list cisco123-copp-acl-dhcp
  10 permit udp any eq bootpc any
  20 permit udp any neq bootps any eq bootps
```

```
ip access-list cisco123-copp-acl-dhcp-relay-response
 10 permit udp any eq bootps any
 20 permit udp any any eq bootpc
ip access-list cisco123-copp-acl-eigrp
 10 permit eigrp any any
ip access-list cisco123-copp-acl-ftp
 10 permit tcp any any eq ftp-data
 20 permit tcp any any eq ftp
 30 permit tcp any eq ftp-data any
 40 permit tcp any eq ftp any
ip access-list cisco123-copp-acl-glbp
 10 permit udp any eq 3222 224.0.0.0/24 eq 3222
ip access-list cisco123-copp-acl-hsrp
 10 permit udp any 224.0.0.0/24 eq 1985
ipv6 access-list cisco123-copp-acl-hsrp6
 10 permit udp any ff02::66/128 eq 2029
ip access-list cisco123-copp-acl-icmp
 10 permit icmp any any echo
 20 permit icmp any any echo-reply
ipv6 access-list cisco123-copp-acl-icmp6
 10 permit icmp any any echo-request
 20 permit icmp any any echo-reply
ipv6 access-list cisco123-copp-acl-icmp6-msgs
 10 permit icmp any any router-advertisement
 20 permit icmp any any router-solicitation
 30 permit icmp any any nd-na
 40 permit icmp any any nd-ns
 50 permit icmp any any mld-query
 60 permit icmp any any mld-report
 70 permit icmp any any mld-reduction
ip access-list cisco123-copp-acl-igmp
 10 permit igmp any 224.0.0.0/3
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-cdp-udld-vtp
 10 permit any 0100.0ccc.cccc 0000.0000.0000
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-cfsoe
 10 permit any 0180.c200.000e 0000.0000.0000 0x8843
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-dot1x
 10 permit any 0180.c200.0003 0000.0000.0000 0x888e
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-fabricpath-isis
 10 permit any 0180.c200.0015 0000.0000.0000
 20 permit any 0180.c200.0014 0000.0000.0000
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-flow-control
 10 permit any 0180.c200.0001 0000.0000.0000 0x8808
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-gold
 10 permit any any 0x3737
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-l2pt
 10 permit any 0100.0ccd.cdd0 0000.0000.0000
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-lacp
 10 permit any 0180.c200.0002 0000.0000.0000 0x8809
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-lldp
 10 permit any 0180.c200.000c 0000.0000.0000 0x88cc
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-otv-isis
 10 permit any 0100.0cdf.dfd0 0000.0000.0000
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-sdp-srp
 10 permit any 0180.c200.000e 0000.0000.0000 0x3401
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-stp
 10 permit any 0100.0ccc.cccd 0000.0000.0000
 20 permit any 0180.c200.0000 0000.0000.0000
mac access-list cisco123-copp-acl-mac-undesirable
 10 permit any any
--More--
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config copp	実行コンフィギュレーション内の CoPP 設定を表示します。
show startup-config aclmgr	スタートアップ コンフィギュレーションのユーザ設定 ACL を表示します。
show startup-config copp	スタートアップ コンフィギュレーション内の CoPP 設定を表示します。

show running-config copp

実行コンフィギュレーションのコントロールプレーン ポリシング設定情報を表示するには、**show running-config copp** コマンドを使用します。

show running-config copp [all]

構文の説明

all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドはデフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) 内でのみ使用できます。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、実行コンフィギュレーションの設定済みコントロールプレーン ポリシング情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config copp
version 4.0(1)
class-map type control-plane match-any copp-system-class-critical
  match access-group name copp-system-acl-arp
  match access-group name copp-system-acl-msdp
class-map type control-plane match-any copp-system-class-important
  match access-group name copp-system-acl-gre
  match access-group name copp-system-acl-tacas
class-map type control-plane match-any copp-system-class-normal
  match access-group name copp-system-acl-icmp
  match redirect dhcp-snoop
  match redirect arp-inspect
  match exception ip option
  match exception ip icmp redirect
  match exception ip icmp unreachable
```

```
policy-map type control-plane copp-system-policy
  class copp-system-class-critical
    police cir 2000 kbps bc 1500 bytes pir 3000 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
  class copp-system-class-important
    police cir 1000 kbps bc 1500 bytes pir 1500 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
  class copp-system-class-normal
    police cir 400 kbps bc 1500 bytes pir 600 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
  class class-default
    police cir 200 kbps bc 1500 bytes pir 300 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
```

次に、実行コンフィギュレーションの設定済みおよびデフォルトのコントロールプレーン ポリシング 情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config copp all
version 4.0(1)
class-map type control-plane match-any copp-system-class-critical
  match access-group name copp-system-acl-arp
  match access-group name copp-system-acl-msdp
class-map type control-plane match-any copp-system-class-important
  match access-group name copp-system-acl-gre
  match access-group name copp-system-acl-tacas
class-map type control-plane match-any copp-system-class-normal
  match access-group name copp-system-acl-icmp
  match redirect dhcp-snoop
  match redirect arp-inspect
  match exception ip option
  match exception ip icmp redirect
  match exception ip icmp unreachable
policy-map type control-plane copp-system-policy
  class copp-system-class-critical
    police cir 2000 kbps bc 1500 bytes pir 3000 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
  class copp-system-class-important
    police cir 1000 kbps bc 1500 bytes pir 1500 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
  class copp-system-class-normal
    police cir 400 kbps bc 1500 bytes pir 600 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
  class class-default
    police cir 200 kbps bc 1500 bytes pir 300 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
```

show running-config cts

実行コンフィギュレーションの Cisco TrustSec 設定を表示するには、**show running-config cts** コマンドを使用します。

show running-config cts

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコンフィギュレーション モード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature cts** コマンドを使用して Cisco TrustSec 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、Advanced Services ライセンスが必要です。

例

次に、実行コンフィギュレーションの Cisco TrustSec 設定を表示する例を示します。

```
switch# show running-config cts
version 4.0(1)
feature cts
cts role-based enforcement
cts role-based sgt-map 10.10.1.1 10
cts role-based access-list MySGACL
    permit icmp
cts role-based sgt 65535 dgt 65535 access-list MySGACL
cts sxp enable
cts sxp connection peer 10.10.3.3 source 10.10.2.2 password default mode listener
vlan 1
    cts role-based enforcement
vrf context MyVRF
    cts role-based enforcement
```

| 関連コマンド

コマンド	説明
feature cts	Cisco TrustSec 機能をイネーブルにします。

show running-config dhcp

実行コンフィギュレーションのダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) スヌーピング設定を表示するには、**show running-config dhcp** コマンドを使用します。

show running-config dhcp [all]

構文の説明

all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin
network-operator
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用するには、**feature dhcp** コマンドを使用して DHCP スヌーピング機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次の例では、DHCP スヌーピング設定を表示する方法を示します。

```
switch# show running-config dhcp
version 4.0(1)
feature dhcp

interface Ethernet2/46
  ip verify source dhcp-snooping-vlan
  ip arp inspection trust
ip dhcp snooping
ip arp inspection validate src-mac dst-mac ip
ip source binding 10.3.2.2 0f00.60b3.2333 vlan 13 interface Ethernet2/46
ip source binding 10.2.2.2 0060.3454.4555 vlan 100 interface Ethernet2/10
ip dhcp snooping vlan 1
ip arp inspection vlan 1
ip dhcp snooping vlan 13
ip arp inspection vlan 13

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
ip dhcp snooping	デバイスの DHCP スヌーピングをグローバルにイネーブルにします。
service dhcp	DHCP リレー エージェントをイネーブルまたはディセーブルにします。
show ip dhcp snooping	DHCP スヌーピングに関する一般的な情報を表示します。
show ip dhcp snooping binding	スタティック IP ソース エントリを含めて、IP-MAC アドレス バインディングを表示します。

show running-config dot1x

実行コンフィギュレーションの 802.1X 設定情報を表示するには、**show running-config dot1x** コマンドを使用します。

show running-config dot1x [all]

構文の説明

all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature dot1x** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、実行コンフィギュレーションの設定済み 802.1X 情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config dot1x
version 4.0(1)
```

show running-config eou

実行コンフィギュレーションの Extensible Authentication Protocol over User Datagram Protocol (EAPoUDP) 設定情報を表示するには、**show running-config eou** コマンドを使用します。

show running-config eou [all]

構文の説明

all (任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature eou** コマンドを使用して EAPoUDP 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、実行コンフィギュレーションの設定済み EAPoUDP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config eou
version 4.0(1)
```

show running-config ldap

実行コンフィギュレーションの Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) サーバ情報を表示するには、**show running-config ldap** コマンドを使用します。

show running-config ldap [all]

構文の説明

all (任意) デフォルトの LDAP 設定情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LDAP 情報を表示する前に、**feature ldap** コマンドを使用する必要があります。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、実行コンフィギュレーションの LDAP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config ldap
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ldap-server	LDAP 情報を表示します。

show running-config port-security

実行コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示するには、**show running-config port-security** コマンドを使用します。

show running-config port-security [all]

構文の説明	all	(任意) デフォルトのポートセキュリティ設定情報を表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator	
コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(3)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。	
例	次に、実行コンフィギュレーションのポートセキュリティの情報を表示する例を示します。 <pre>switch# show running-port-security version 4.0(3) feature port-security logging level port-security 5 interface Ethernet2/3 switchport port-security</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	show startup-config port-security	スタートアップ コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示します。

show running-config radius

実行コンフィギュレーションの RADIUS サーバ情報を表示するには、**show running-config radius** コマンドを使用します。

show running-config radius [all]

構文の説明	all	(任意) デフォルトの RADIUS 設定情報を表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	任意のコマンドモード	
サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator	
コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。	
例	次に、実行コンフィギュレーションの RADIUS の情報を表示する例を示します。 switch# show running-config radius	
関連コマンド	コマンド	説明
	show radius-server	RADIUS 情報を表示します。

show running-config security

実行コンフィギュレーションのユーザ アカウント、セキュア シェル (SSH) サーバ、および Telnet サーバ情報を表示するには、**show running-config security** コマンドを使用します。

show running-config security [all]

構文の説明

all	(任意) デフォルトのユーザ アカウント、SSH サーバ、および Telnet サーバ コンフィギュレーション情報を表示します。
------------	--

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、実行コンフィギュレーションのユーザ アカウント、SSH サーバ、および Telnet サーバ情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config security
version 5.1(1)
username admin password 5 $1$7Jwq/LDM$XF0M/UWeT43DmtjZy8VP91 role network-admin
username adminbackup password 5 $1$0ip/C5Ci$oOdx7oJS1BCFpNRmQK4na. role network-operator
username user1 password 5 $1$qEc1Q5Rx$CAX9fXiAoFPYSvbVzpzj/ role network-operator
telnet server enable
ssh key rsa 1024 force
```

show running-config tacacs+

実行コンフィギュレーションの TACACS+ サーバ情報を表示するには、**show running-config tacacs+** コマンドを使用します。

show running-config tacacs+ [all]

構文の説明

all (任意) デフォルトの TACACS+ 設定情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

TACACS+ 情報を表示する前に、**feature tacacs+** コマンドを使用する必要があります。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、実行コンフィギュレーションの TACACS+ 情報を表示する例を示します。

```
switch# show running-config tacacs+
```

関連コマンド

コマンド	説明
show tacacs-server	TACACS+ 情報を表示します。

show ssh key

仮想デバイス コンテキスト (VDC) の Secure Shell (SSH; セキュア シェル) サーバ キーを表示するには、**show ssh key** コマンドを使用します。

show ssh key

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、**feature ssh** コマンドを使用して SSH がイネーブルのときだけ使用できます。このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、SSH サーバ キーを表示する例を示します。

```
switch# show ssh key
*****
rsa Keys generated:Wed Aug 11 11:45:14 2010

ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAADAQABAAQGDypfN6FSHZDbFPWEoz7sgWCamhfoqjqYNoZMvySSb4
056LhWZ75D90KPo+G+XTo7QAYQMpLJSkwKcRkidgD41wJaDd/Ic/S15SJ3i0jyM61Bwvi+8+J3JoIdft
AvgH47GT5BdDD6hM7aUHq+efSQSq8pGyDAR4Cw6UdY9HNAWoTw==

bitcount:1024
fingerprint:
cd:8d:e3:0c:2a:df:58:d3:6e:9c:bd:72:75:3f:2e:45
*****
could not retrieve dsa key information
*****
```

■ show ssh key

関連コマンド

コマンド	説明
ssh server key	SSH サーバ キーを設定します。

show ssh server

仮想デバイス コンテキスト (VDC) の Secure Shell (SSH) サーバ ステータスを表示するには、**show ssh server** コマンドを使用します。

show ssh server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、SSH サーバ ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show ssh server  
ssh is enabled  
version 2 enabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature ssh	SSH サーバをイネーブルにします。

show startup-config aaa

スタートアップ コンフィギュレーションの Authentication, Authorization, and Accounting (AAA; 認証、認可、アカウントिंग) 設定情報を表示するには、**show startup-config aaa** コマンドを使用します。

show startup-config aaa

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションの AAA 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config aaa  
version 4.0(1)
```

show startup-config aclmgr

スタートアップ コンフィギュレーションのユーザ設定のアクセス コントロール リスト (ACL) を表示するには、**show startup-config aclmgr** コマンドを使用します。

show startup-config aclmgr [all]

構文の説明	all	スタートアップ コンフィギュレーション内のデフォルト (CoPP 設定) ACL とユーザ設定 ACL の両方を表示します。
デフォルト	なし	
コマンド モード	任意	
サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator	
コマンド履歴	リリース	変更箇所
	5.2(1)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。	

例 次に、スタートアップ コンフィギュレーションのユーザ設定 ACL を表示する例を示します。

```
switch(config)# show startup-config aclmgr all
!Command: show startup-config aclmgr all
!Time: Wed May 25 08:04:36 2011
!Startup config saved at: Mon May 23 05:44:16 2011
```

```
version 5.2(1)
ip access-list acl1
ip access-list copp-system-p-acl-bgp
 10 permit tcp any gt 1024 any eq bgp
 20 permit tcp any eq bgp any gt 1024
ipv6 access-list copp-system-p-acl-bgp6
 10 permit tcp any gt 1024 any eq bgp
 20 permit tcp any eq bgp any gt 1024
ip access-list copp-system-p-acl-cts
 10 permit tcp any any eq 64999
 20 permit tcp any eq 64999 any
ip access-list copp-system-p-acl-dhcp
 10 permit udp any eq bootpc any
 20 permit udp any neq bootps any eq bootps
```

```

ip access-list copp-system-p-acl-dhcp-relay-response
  10 permit udp any eq bootps any
  20 permit udp any any eq bootpc
ip access-list copp-system-p-acl-eigrp
  10 permit eigrp any any
ip access-list copp-system-p-acl-ftp
  10 permit tcp any any eq ftp-data
  20 permit tcp any any eq ftp
  30 permit tcp any eq ftp-data any
  40 permit tcp any eq ftp any
ip access-list copp-system-p-acl-glbp
  10 permit udp any eq 3222 224.0.0.0/24 eq 3222
ip access-list copp-system-p-acl-hsrp
  10 permit udp any 224.0.0.0/24 eq 1985
ipv6 access-list copp-system-p-acl-hsrp6
  10 permit udp any ff02::66/128 eq 2029
ip access-list copp-system-p-acl-icmp
  10 permit icmp any any echo
  20 permit icmp any any echo-reply
ipv6 access-list copp-system-p-acl-icmp6
  10 permit icmp any any echo-request
  20 permit icmp any any echo-reply
ipv6 access-list copp-system-p-acl-icmp6-msgs
  10 permit icmp any any router-advertisement
  20 permit icmp any any router-solicitation
  30 permit icmp any any nd-na
  40 permit icmp any any nd-ns
  50 permit icmp any any mld-query
  60 permit icmp any any mld-report
  70 permit icmp any any mld-reduction
ip access-list copp-system-p-acl-igmp
  10 permit igmp any 224.0.0.0/3
mac access-list copp-system-p-acl-mac-cdp-udld-vtp
  10 permit any 0100.0ccc.cccc 0000.0000.0000
mac access-list copp-system-p-acl-mac-cfsoe
  10 permit any 0180.c200.000e 0000.0000.0000 0x8843
mac access-list copp-system-p-acl-mac-dot1x
  10 permit any 0180.c200.0003 0000.0000.0000 0x888e
mac access-list copp-system-p-acl-mac-fabricpath-isis
  10 permit any 0180.c200.0015 0000.0000.0000
  20 permit any 0180.c200.0014 0000.0000.0000
mac access-list copp-system-p-acl-mac-flow-control
--More--

```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config aclmgr	実行コンフィギュレーションのユーザ設定 ACL を表示します。
show running-config copp	実行コンフィギュレーション内の CoPP 設定を表示します。
show startup-config copp	スタートアップ コンフィギュレーション内の CoPP 設定を表示します。

show startup-config copp

スタートアップ コンフィギュレーションのコントロールプレーン ポリシング (CoPP) 設定情報を表示するには、**show startup-config copp** コマンドを使用します。

show startup-config copp

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドはデフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) 内でのみ使用できます。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションのコントロールプレーン ポリシング情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config copp
version 4.0(1)
class-map type control-plane match-any MyClassMap
  match redirect dhcp-snoop
class-map type control-plane match-any copp-system-class-critical
  match access-group name copp-system-acl-arp
  match access-group name copp-system-acl-msdp
class-map type control-plane match-any copp-system-class-important
  match access-group name copp-system-acl-gre
  match access-group name copp-system-acl-tacas
class-map type control-plane match-any copp-system-class-normal
  match access-group name copp-system-acl-icmp
  match redirect dhcp-snoop
  match redirect arp-inspect
  match exception ip option
  match exception ip icmp redirect
  match exception ip icmp unreachable
```

```
policy-map type control-plane MyPolicyMap
  class MyClassMap
    police cir 0 bps bc 0 bytes conform drop violate drop
policy-map type control-plane copp-system-policy
  class copp-system-class-critical
    police cir 2000 kbps bc 1500 bytes pir 3000 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
  class copp-system-class-important
    police cir 1000 kbps bc 1500 bytes pir 1500 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
  class copp-system-class-normal
    police cir 400 kbps bc 1500 bytes pir 600 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
  class class-default
    police cir 200 kbps bc 1500 bytes pir 300 kbps be 1500 bytes conform transmit exceed
  transmit violate drop
policy-map type control-plane x
  class class-default
    police cir 0 bps bc 0 bytes conform drop violate drop
```

show startup-config dhcp

スタートアップ コンフィギュレーションのダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) スヌーピング設定を表示するには、**show startup-config dhcp** コマンドを使用します。

show startup-config dhcp [all]

構文の説明	all	(任意) 設定済みおよびデフォルトの情報を表示します。
-------	------------	-----------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	任意のコマンド モード
----------	-------------

サポートされるユーザ ロール	network-admin vdc-admin network-operator vdc-operator
----------------	--

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドを使用するには、 feature dhcp コマンドを使用して DHCP スヌーピング機能をイネーブルにする必要があります。
------------	---

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例	次に、スタートアップ コンフィギュレーションの DHCP スヌーピング設定を表示する例を示します。
---	---

```
switch# show startup-config dhcp
version 4.0(1)
feature dhcp

interface Ethernet2/46
  ip verify source dhcp-snooping-vlan
  ip arp inspection trust
ip dhcp snooping
ip arp inspection validate src-mac dst-mac ip
ip source binding 10.3.2.2 0f00.60b3.2333 vlan 13 interface Ethernet2/46
ip source binding 10.2.2.2 0060.3454.4555 vlan 100 interface Ethernet2/10
ip dhcp snooping vlan 1
ip arp inspection vlan 1
ip dhcp snooping vlan 13
ip arp inspection vlan 13

switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature dhcp	デバイスの DHCP スヌーピング機能をイネーブルにします。
show running-config dhcp	実行コンフィギュレーションの DHCP スヌーピング設定を表示します。

show startup-config dot1x

スタートアップ コンフィギュレーションの 802.1X 設定情報を表示するには、**show startup-config dot1x** コマンドを使用します。

show startup-config dot1x

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature dot1x** コマンドを使用して 802.1X 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションの 802.1X 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config dot1x  
version 4.0(1)
```

show startup-config eou

スタートアップ コンフィギュレーションの Extensible Authentication Protocol over User Datagram Protocol (EAPoUDP) 設定情報を表示するには、**show startup-config eou** コマンドを使用します。

show startup-config eou

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用する前に、**feature eou** コマンドを使用して EAPoUDP 機能をイネーブルにする必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションの EAPoUDP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config eou
version 4.0(1)
```

show startup-config ldap

スタートアップ コンフィギュレーションの Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) 設定情報を表示するには、**show startup-config ldap** コマンドを使用します。

show startup-config ldap

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

LDAP 情報を表示する前に、**feature ldap** コマンドを使用する必要があります。
このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションの LDAP 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config ldap
!Command: show startup-config ldap
!Time: Wed Feb 17 13:02:31 2010
!Startup config saved at: Wed Feb 17 10:32:23 2010

version 5.0(2)
feature ldap
aaa group server ldap LDAPgroup1
  no ldap-search-map
aaa group server ldap LdapServer1
  no ldap-search-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ldap-server	LDAP 情報を表示します。

show startup-config port-security

スタートアップ コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示するには、**show startup-config port-security** コマンドを使用します。

show startup-config port-security [all]

構文の説明

all (任意) デフォルトのポートセキュリティ設定情報を表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(3)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションのポートセキュリティの情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-port-security
version 4.0(3)
feature port-security
logging level port-security 5

interface Ethernet2/3
  switchport port-security
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config port-security	スタートアップ コンフィギュレーションのポートセキュリティ情報を表示します。

show startup-config radius

スタートアップ コンフィギュレーションの RADIUS 設定情報を表示するには、**show startup-config radius** コマンドを使用します。

show startup-config radius

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションの RADIUS 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config radius  
version 4.0(1)
```

show startup-config security

スタートアップ コンフィギュレーションのユーザ アカウント、Secure Shell (SSH; セキュア シェル) サーバ、および Telnet サーバ コンフィギュレーション情報を表示するには、**show startup-config security** コマンドを使用します。

show startup-config security

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションのユーザ アカウント、SSH サーバ、および Telnet サーバ情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config security
version 5.1(1)
username admin password 5 $1$7Jwq/LDM$XF0M/UWeT43DmtjZy8VP91 role network-admin
username adminbackup password 5 $1$0ip/C5Ci$oOdx7oJS1BCFpNRmQK4na. role network-operator
username user1 password 5 $1$qEclQ5Rx$CAX9fXiAoFPYSvbVzpazj/ role network-operator
telnet server enable
ssh key rsa 1024 force
```

show startup-config tacacs+

スタートアップ コンフィギュレーションの TACACS+ 設定情報を表示するには、**show startup-config tacacs+** コマンドを使用します。

show startup-config tacacs+

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションの TACACS+ 情報を表示する例を示します。

```
switch# show startup-config tacacs+  
version 4.0(1)
```

show system internal pktmgr internal control sw-rate-limit

スーパーバイザ モジュールに到達するパケットのインバンドおよびアウトバンドのグローバル レート制限の設定を表示するには、**show system internal pktmgr internal control sw-rate-limit** コマンドを使用します。

show system internal pktmgr internal control sw-rate-limit

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、スーパーバイザ モジュールに到達するパケットのインバンドおよびアウトバンドのグローバル レート制限の設定を表示する例を示します。

```
switch# show system internal pktmgr internal control sw-rate-limit
inband pps global threshold 12500 outband pps global threshold 15500
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
rate-limit cpu	スーパーバイザ モジュールに到達するパケットのデバイスのレート制限を
direction pps action	グローバルに設定します。
log	

show tacacs+

TACACS+ Cisco Fabric Services (CFS) 配信ステータスおよびその他の詳細を表示するには、**show tacacs+** コマンドを使用します。

show tacacs+ {distribution status | pending [cmds] | pending-diff}

構文の説明

distribution status	TACACS+ CFS 配信のステータスを表示します。
pending	実行コンフィギュレーションにまだ適用されていない保留中の設定を表示します。
cmds	(任意) 保留中の設定に対するコマンドを表示します。
pending-diff	アクティブな設定と保留中の設定との間の違いを表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、TACACS+ CFS のステータスを表示する例を示します。

```
switch# show tacacs+ distribution status
distribution : enabled
session ongoing: no
session db: does not exist
merge protocol status: not yet initiated after enable

last operation: enable
last operation status: success
```

次に、TACACS+ マージ ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show tacacs+ merge status
Result: Waiting
```

次に、保留中の TACACS+ の設定を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs+ pending
tacacs-server host 10.10.2.2 key 7 qxz12345
```

次に、保留中の TACACS+ コンフィギュレーション コマンドを表示する例を示します。

```
switch# show tacacs+ pending cmds
tacacs-server host 10.10.2.2 key 7 qxz12345 port 49
```

次に、保留中の TACACS+ の設定と、現在の TACACS+ の設定の差異を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs+ pending-diff
+tacacs-server host 10.10.2.2
```

show tacacs-server

TACACS+ サーバ情報を表示するには、**show tacacs-server** コマンドを表示します。

```
show tacacs-server [hostname | ip4-address | ipv6-address]
[directed-request | groups | sorted | statistics]
```

構文の説明

<i>hostname</i>	(任意) TACACS+ サーバの Domain Name Server (DNS; ドメイン ネーム サーバ) 名。最大文字サイズは 256 です。
<i>ip4-address</i>	(任意) <i>A.B.C.D</i> 形式の TACACS+ サーバの IPv4 アドレス。
<i>ipv6-address</i>	(任意) <i>X:X:X::X</i> 形式の TACACS+ サーバの IPv6 アドレス。
directed-request	(任意) 指定要求設定を表示します。
groups	(任意) 設定された TACACS+ サーバ グループに関する情報を表示します。
sorted	(任意) TACACS+ サーバに関する名前でソートされた情報を表示します。
statistics	(任意) TACACS+ サーバの TACACS+ 統計情報を表示します。

デフォルト

グローバル TACACS+ サーバ設定を表示します。

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

TACACS+ 事前共有キーは、**show tacacs-server** コマンド出力には表示されません。TACACS+ 事前共有キーを表示するには、**show running-config tacacs+** コマンドを使用します。

TACACS+ 情報を表示する前に、**feature tacacs+** コマンドを使用する必要があります。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、すべての TACACS+ サーバの情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server
Global TACACS+ shared secret:*****
timeout value:5
deadtime value:0
total number of servers:2

following TACACS+ servers are configured:
 10.10.2.2:
    available on port:49
 10.10.1.1:
    available on port:49
```

次に、指定された TACACS+ サーバの情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server 10.10.2.2
10.10.2.2:
    available for authentication on port:1812
    available for accounting on port:1813
    idle time:0
    test user:test
    test password:*****
```

次に、TACACS+ 指定要求設定を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server directed-request
enabled
```

次に、TACACS+ サーバグループの情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server groups
total number of groups:1

following TACACS+ server groups are configured:
group TacServer:
    server 10.10.2.2 on port 49
    deadtime is 0
    vrf is vrf3
```

次に、指定された TACACS+ サーバグループの情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server groups TacServer
group TacServer:
    server 10.10.2.2 on port 49
    deadtime is 0
    vrf is vrf3
```

次に、すべての TACACS+ サーバのソートされた情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server sorted
Global TACACS+ shared secret:*****
timeout value:5
deadtime value:0
total number of servers:2

following TACACS+ servers are configured:
 10.10.1.1:
    available on port:49
 10.10.2.2:
    available on port:49
```

次に、指定された TACACS+ サーバの統計情報を表示する例を示します。

```
switch# show tacacs-server statistics 10.10.2.2
Server is not monitored

Authentication Statistics
  failed transactions: 0
  successful transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0

Authorization Statistics
  failed transactions: 0
  successful transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0

Accounting Statistics
  failed transactions: 0
  successful transactions: 0
  requests sent: 0
  requests timed out: 0
  responses with no matching requests: 0
  responses not processed: 0
  responses containing errors: 0
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show running-config tacacs+</code>	実行コンフィギュレーションファイルの TACACS+ 情報を表示します。

show telnet server

仮想デバイス コンテキスト（VDC）の Telnet サーバ ステータスを表示するには、**show telnet server** コマンドを使用します。

show telnet server

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、Telnet サーバ ステータスを表示する例を示します。

```
switch# show telnet server
telnet service enabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
telnet server enable	Telnet サーバをイネーブルにします。

show time-range

すべての時間範囲または特定の時間範囲を表示するには、**show time-range** コマンドを使用します。

show time-range [*time-range-name*]

構文の説明	<i>time-range-name</i> (任意) 時間範囲の名前。最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。				
デフォルト	なし				
コマンドモード	任意のコマンドモード				
サポートされるユーザロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator				
コマンド履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0(1)</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更箇所	4.0(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更箇所				
4.0(1)	このコマンドが追加されました。				

使用上のガイドライン *time-range-name* 引数を使用して時間範囲を指定する場合を除いて、デバイスはすべての時間範囲を表示します。

時間範囲名を指定しない場合、デバイスに、時間範囲名によってアルファベット順に時間範囲のリストが表示されます。

show time-range コマンドの出力は、時間範囲がアクティブである、つまり、デバイスの現在のシステム時間が設定された時間範囲内に収まるかどうかを示します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、一方は非アクティブで、他方はアクティブである 2 つの時間範囲が設定されているデバイスの時間範囲名を指定しないで **show time-range** コマンドを使用する例を示します。

```
switch(config-time-range)# show time-range

time-range entry: december (inactive)
  10 absolute start 0:00:00 1 December 2009 end 11:59:59 31 December 2009
time-range entry: november (active)
  10 absolute start 0:00:00 1 November 2009 end 23:59:59 30 November 2009
```

関連コマンド

コマンド	説明
time-range	時間範囲を設定します。
permit (IPv4)	IPv4 ACL に許可 (permit) ルールを設定します。
permit (IPv6)	IPv6 ACL に許可 (permit) ルールを設定します。
permit (MAC)	MAC ACL に許可 (permit) ルールを設定します。
show access-lists	すべての ACL または特定の ACL を表示します。

show user-account

仮想デバイス コンテキスト (VDC) のユーザ アカウントの情報を表示するには、**show user-account** コマンドを使用します。

show user-account

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、デフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) のユーザ アカウントの情報を表示する例を示します。

```
switch# show user-account
user:admin
    this user account has no expiry date
    roles:network-admin
user:adminbackup
    this user account has no expiry date
    roles:network-operator
```

次に、デフォルト以外の VDC のユーザ アカウントの情報を表示する例を示します。

```
switch-MyVDC# show user-account
user:admin
    this user account has no expiry date
    roles:vdc-admin
```

関連コマンド

コマンド	説明
telnet server enable	Telnet サーバをイネーブルにします。

show username

指定したユーザの公開キーを表示するには、**show username** コマンドを使用します。

show username *username* keypair

構文の説明

<i>username</i>	ユーザ名。最大 28 文字の英数字を入力できます。
keypair	Secure Shell (SSH) ユーザ キーを表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.0(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。
セキュリティ上の理由から、このコマンドで秘密キーは表示されません。

例

次に、指定したユーザの公開キーを表示する例を示します。

```
switch# show username admin keypair
*****

rsa Keys generated:Mon Feb 15 08:10:45 2010

ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAIEA0+rIeMgXwv0041t/hwOoyqIKbFG11tmkFNm/tozuazfL
4dH/asAXZoJePddi01ILBGfrQgzys5u3prXuXfgnWkTu0/4WlD0DF/EPdsd3NNzNbpPFzNDVylPDyDfR
X5SfVICioEirjX9Y59DZP+Nng6rJD7Z/YHVXs/jRNLpBOIs=

bitcount:262144
fingerprint:
a4:a7:b1:d1:43:09:49:6f:7c:f8:60:62:8e:a2:c1:d1
*****

could not retrieve dsa key information
*****
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
username <i>username</i> keypair generate	SSH 公開キーおよび秘密キーを生成し、それらを指定したユーザの Cisco NX-OS デバイスのホーム ディレクトリに保存します。

show users

仮想デバイス コンテキスト (VDC) のユーザ セッション情報を表示するには、**show users** コマンドを使用します。

show users

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザ ロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、デフォルトの仮想デバイス コンテキスト (VDC) のユーザ セッション情報を表示する例を示します。

```
switch# show users
NAME      LINE      TIME          IDLE          PID COMMENT
admin     pts/1     Mar 17 15:18  .            5477 (172.28.254.254)
admin     pts/9     Mar 19 11:19  .            23101 (10.82.234.56)*
```

次に、デフォルト以外の VDC のユーザ アカウントの情報を表示する例を示します。

```
switch-MyVDC# show users
admin     pts/10    Mar 19 12:54  .            30965 (10.82.234.56)*
```

関連コマンド

コマンド	説明
username	ユーザ アカウントを設定します。

show vlan access-list

IPv4 Access Control List (ACL) の内容、IPv6 ACL の内容、または特定の VLAN アクセス マップに関連付けられている MAC ACL を表示するには、**show vlan access-list** コマンドを使用します。

show vlan access-list *access-list-name*

構文の説明

<i>access-list-name</i>	VLAN アクセス マップの名前。名前では最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
-------------------------	---

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、**show vlan access-list** コマンドを使用して、**vacl-01** という名前の VLAN アクセス マップが使用されるように設定されている ACL の内容を表示する例を示します。

```
switch# show vlan access-list vacl-01

IP access list ipv4acl
  5 deny ip 10.1.1.1/32 any
 10 permit ip any any
```

関連コマンド

コマンド	説明
vlan access-map	VLAN アクセス マップを設定します。
show access-lists	すべての ACL または特定の ACL を表示します。
show ip access-lists	すべての IPv4 ACL または特定の IPv4 ACL を表示します。

コマンド	説明
show mac access-lists	すべての MAC ACL または特定の MAC ACL を表示します。
show vlan access-map	すべての VLAN アクセス マップまたは特定の VLAN アクセス マップを表示します。

show vlan access-map

すべての VLAN アクセス マップまたは 1 つの VLAN アクセス マップを表示するには、**show vlan access-map** コマンドを使用します。

show vlan access-map map-name

構文の説明	<i>map-name</i>	VLAN アクセス マップ。最大で 64 文字の英数字を使用でき、大文字と小文字が区別されます。
-------	-----------------	--

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	任意のコマンド モード
----------	-------------

サポートされるユーザ ロール	network-admin network-operator vdc-admin vdc-operator
----------------	--

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	4.2(1)	コマンド出力は、ACL 名によってアルファベット順にソートされます。
	4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン *map-name* 引数を使用してアクセス マップを指定する場合を除いて、デバイスはすべての VLAN アクセス マップを表示します。

アクセスマップ名を指定しない場合、デバイスでは、アクセスマップ名のアルファベット順に VLAN アクセス マップが表示されます。

表示される各 VLAN アクセス マップに対して、デバイスはアクセスマップ名、**match** コマンドで指定された ACL、および **action** コマンドで指定された処理を表示します。

VLAN アクセス マップが適用されている VLAN を確認するには、**show vlan filter** コマンドを使用します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例 次に、イーサネット 2/1 インターフェイスから動的に学習されたセキュア MAC アドレスを削除する例を示します。

■ show vlan access-map

```
switch# show vlan access-map  
  
Vlan access-map austin-vlan-map  
  
    match ip: austin-corp-acl  
    action: forward
```

関連コマンド

コマンド	説明
action	VLAN アクセス マップにトラフィック フィルタリングのアクションを指定します。
match	VLAN アクセス マップにトラフィック フィルタリングの ACL を指定します。
show vlan filter	VLAN アクセス マップが適用されている方法に関する情報を表示します。
vlan access-map	VLAN アクセス マップを設定します。
vlan filter	1 つ以上の VLAN に VLAN アクセス マップを適用します。

show vlan filter

コマンドによって影響される VLAN アクセスマップおよび VLAN ID を含めて、**show vlan filter** コマンドのインスタンスに関する情報を表示するには、**show vlan filter** コマンドを使用します。

show vlan filter [**access-map** *map-name* | **vlan** *vlan-ID*]

構文の説明

access-map <i>map-name</i>	(任意) 指定されたアクセス マップが適用されている VLAN に出力を制限します。
vlan <i>vlan-ID</i>	(任意) 指定された VLAN だけに適用されているアクセス マップに出力を制限します。有効な VLAN ID は、1 ~ 4096 です。

デフォルト

access-map キーワードを使用してアクセス マップを指定する場合、または **vlan** キーワードを使用して VLAN ID を指定する場合を除いて、デバイスは VLAN に適用されている VLAN アクセス マップのすべてのインスタンスを表示します。

コマンド モード

任意のコマンド モード

サポートされるユーザロール

network-admin
network-operator
vdc-admin
vdc-operator

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、1 つの VLAN アクセス マップ (**austin-vlan-map**) だけが VLAN 20 ~ 35 および 42 ~ 80 に適用されているデバイスのすべての VLAN アクセス マップ情報を表示する例を示します。

```
switch# show vlan filter

vlan map austin-vlan-map:
    Configured on VLANs:    20-35,42-80
```

関連コマンド

コマンド	説明
action	VLAN アクセス マップにトラフィック フィルタリングのアクションを指定します。
match	VLAN アクセス マップにトラフィック フィルタリングの ACL を指定します。
show vlan access-map	すべての VLAN アクセス マップまたは 1 つの VLAN アクセス マップを表示します。
vlan access-map	VLAN アクセス マップを設定します。
vlan filter	1 つ以上の VLAN に VLAN アクセス マップを適用します。